



アイ
フル

2023年3月期 第3四半期
決算プレゼンテーション資料

2023年2月

目次

01	イントロダクション	03 - 06
02	連結決算概況	07 - 14
03	アイフルグループにおける『変化』	15 - 20
04	アイフル決算概況	21 - 29
05	ライフカード決算概況	30 - 43
06	グループ各社決算概況	44 - 48
07	参考資料	49 - 57

01 インTRODクシヨソ

決算ダイジェスト(連結)

- 営業収益は1,075億円、当期純利益は168億円と計画通り順調に進捗
- 新規貸付件数は、2006年3月期第3四半期以降最高の21万2千件となり、貸付件数増加に伴い、営業アセットも9,773億円と2ケタ成長を実現
- 広告宣伝費の積極投下や、残高成長を背景とした貸倒関連費用等の増加により、営業費用は前年同期比12.4%増の898億円
- 外部格付け(JCR)は1ノッチアップし「BBB+/ポジティブ」

連結決算概要

- 営業アセット：主力となるローン事業および信用保証事業が堅調に推移、クレジット事業の回復により前年同期比12.6%増
- 信用保証事業：おまとめローンを中心とした証書貸付（前年同期比145億円増）が牽引し、前年同期比17.6%増の1,945億円

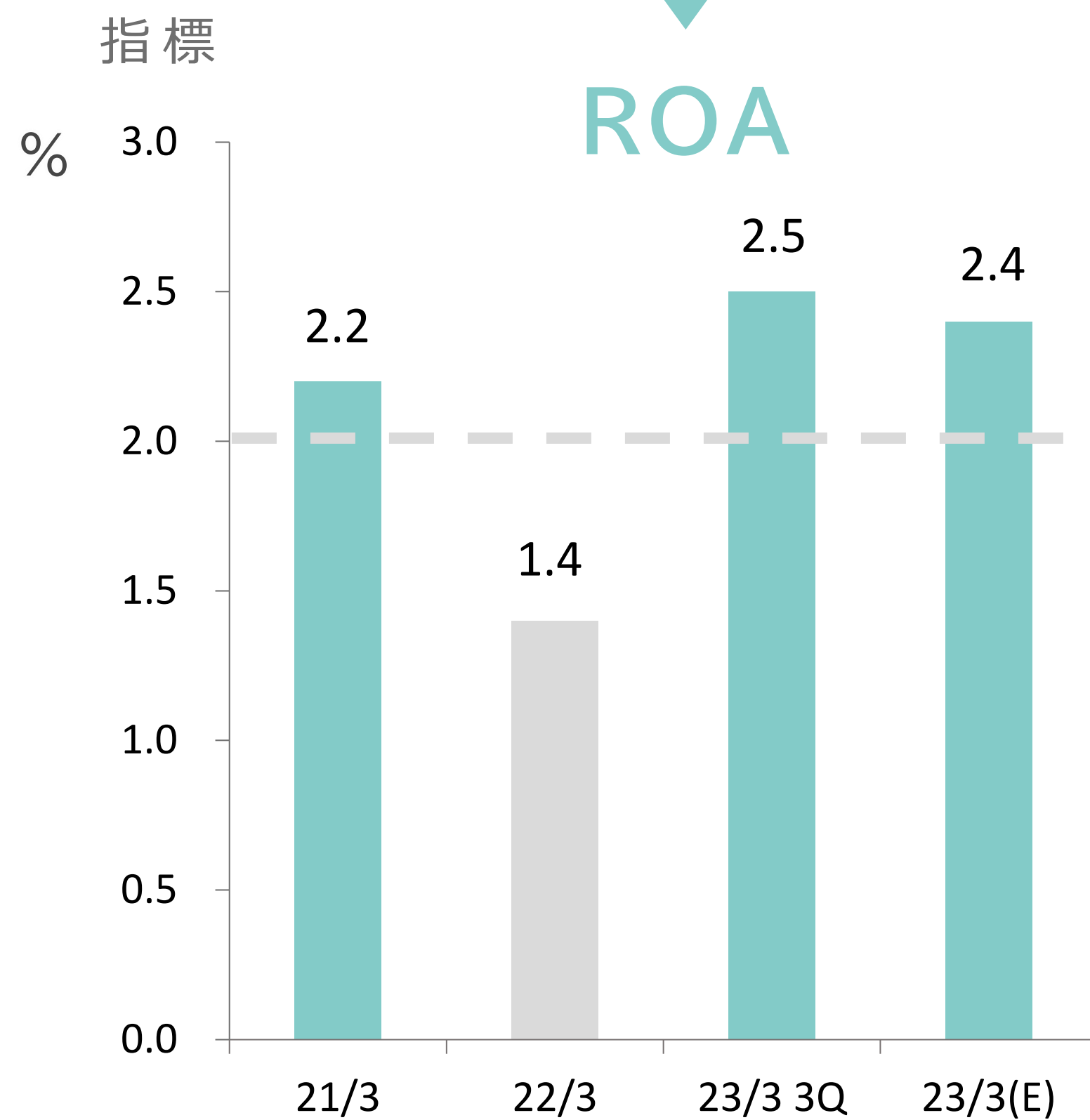
単位：百万円	22/3 3Q	23/3 3Q	前年同期 比増減額	前年同期比 増減率	23/3(E)	前期比 増減額	前期比 増減率	
営業アセット	867,718	977,341	109,622	12.6%	1,007,600	120,192	13.5%	
ローン事業	568,878	625,936	57,058	10.0%	649,100	66,750	11.5%	
無担保ローン	493,801	534,184	40,382	8.2%	557,300	52,044	10.3%	
有担保ローン	17,973	23,341	5,368	29.9%	23,600	5,317	29.1%	
事業者ローン	57,103	68,410	11,307	19.8%	68,200	9,389	16.0%	
クレジット事業	117,369	137,447	20,077	17.1%	143,800	27,019	23.1%	
支払承諾見返	166,469	195,282	28,813	17.3%	202,000	29,302	17.0%	
信用保証事業	165,486	194,597	29,111	17.6%	201,300	29,502	17.2%	
その他	983	685	-298	-30.3%	600	-300	-33.4%	3Q進捗率
営業収益	98,492	107,583	9,091	9.2%	144,800	12,702	9.6%	74.3%
営業費用	79,889	89,828	9,938	12.4%	121,000	144	0.1%	74.2%
営業利益	18,602	17,755	-847	-4.6%	23,800	12,557	111.7%	74.6%
経常利益	18,963	18,320	-642	-3.4%	24,000	11,734	95.7%	76.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	18,161	16,869	-1,291	-7.1%	21,300	8,965	72.7%	79.2%

主要KPI

ROA・ROE・自己資本比率推移

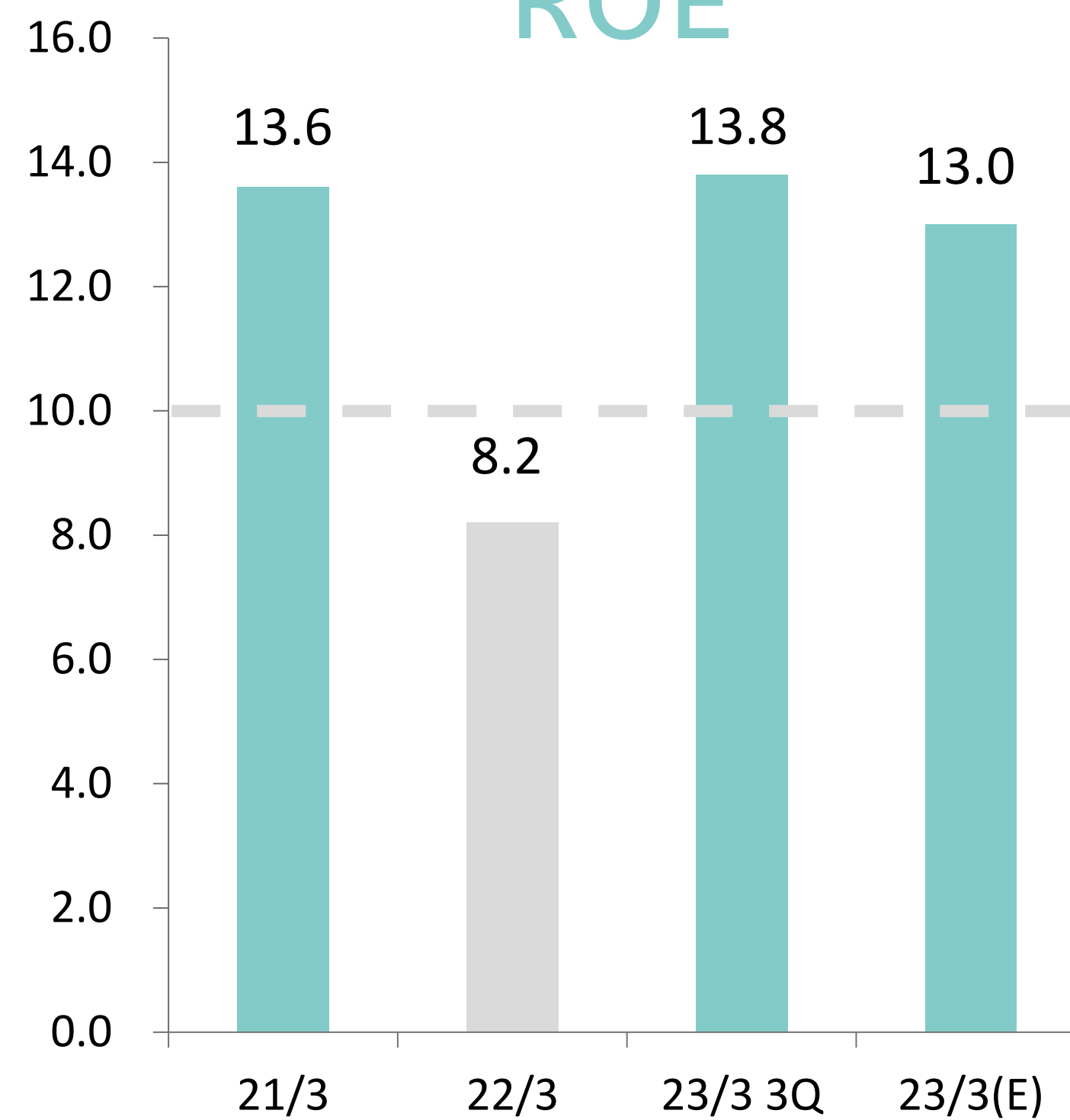
2%超

ROA



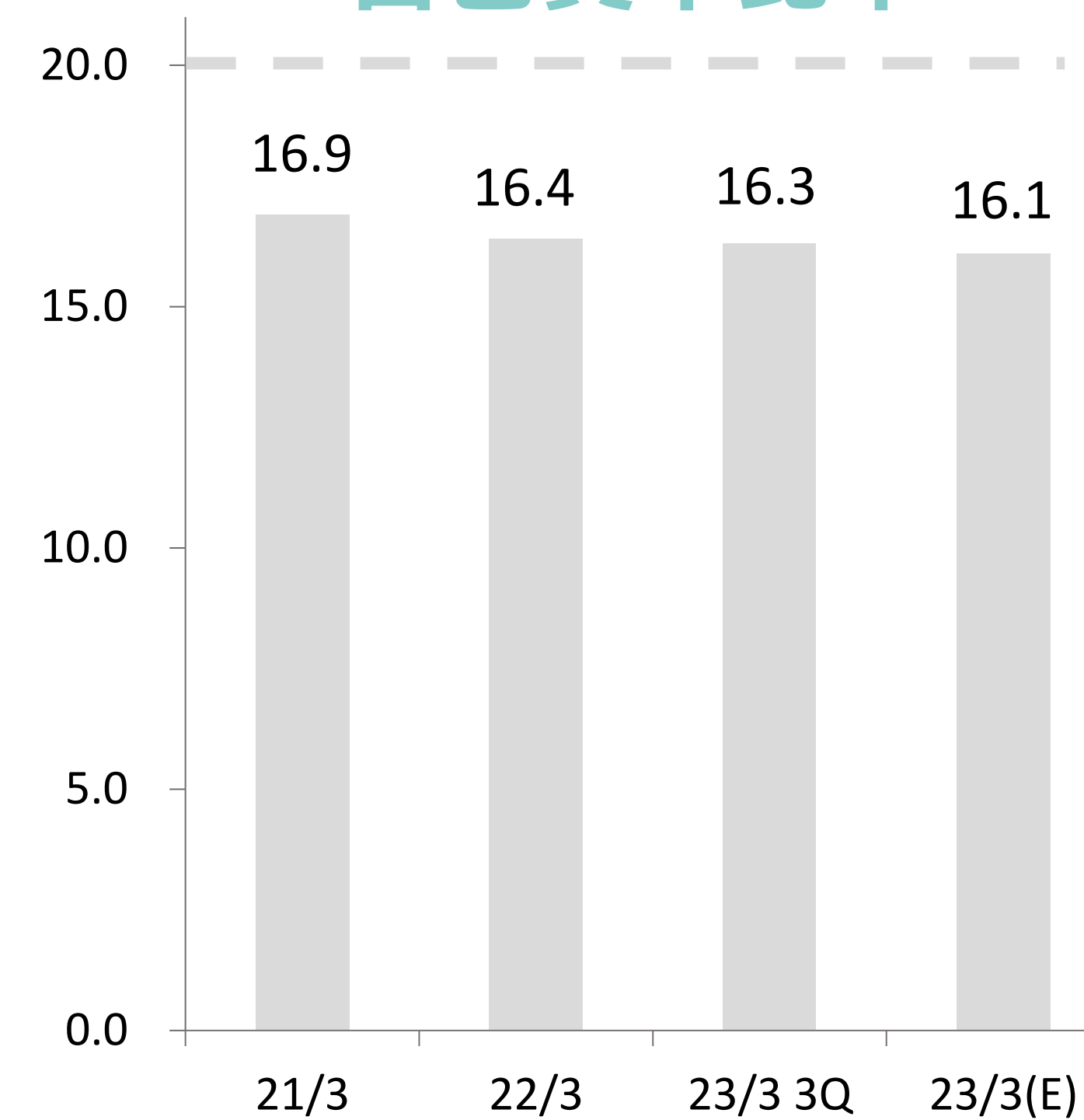
10%超

ROE



20%

自己資本比率



02 連結決算概況

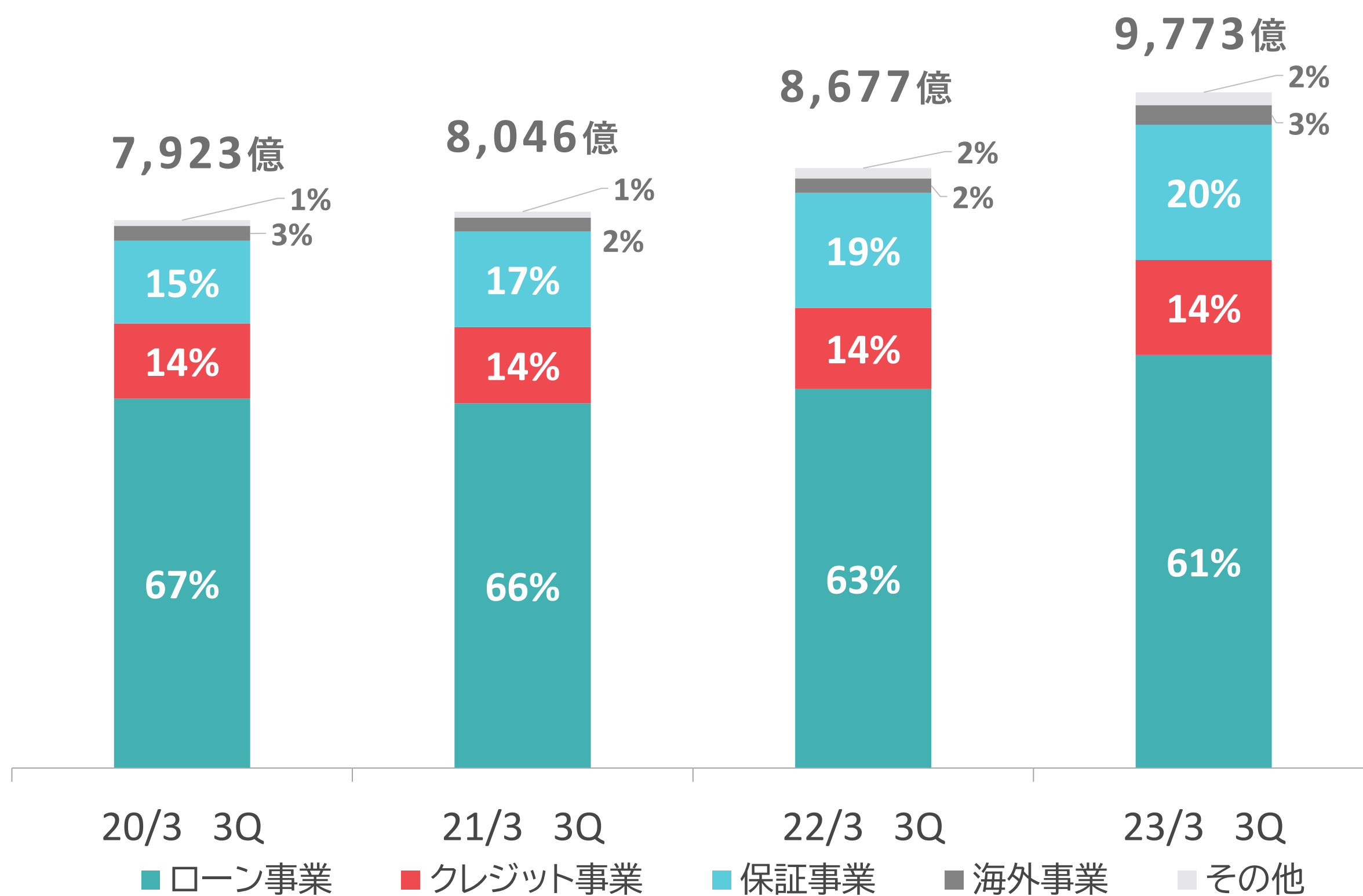
業績ハイライト(営業アセット・営業収益)

【事業ポートフォリオの考え方】

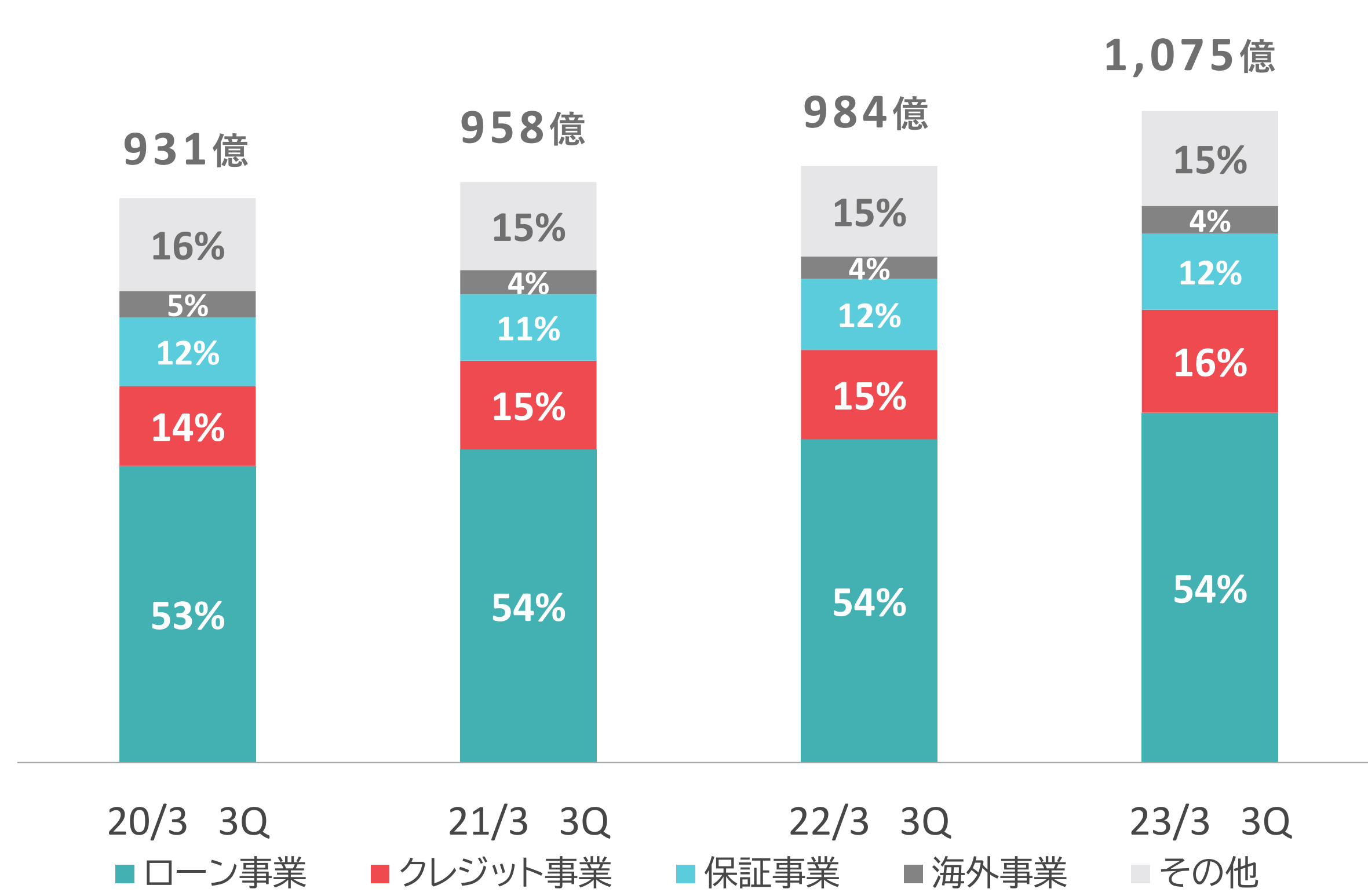
ローン事業に依らない安定的な収益確保を目的とし、保証事業等のフィービジネスやクレジット事業の強化など金融事業の多角化を目指す

- 事業多角化により、営業アセットが増加
- 保証事業の拡大を主な要因として、債権ポートフォリオは改善
- アセットの拡大に伴い、営業収益も安定的に増加

営業アセット

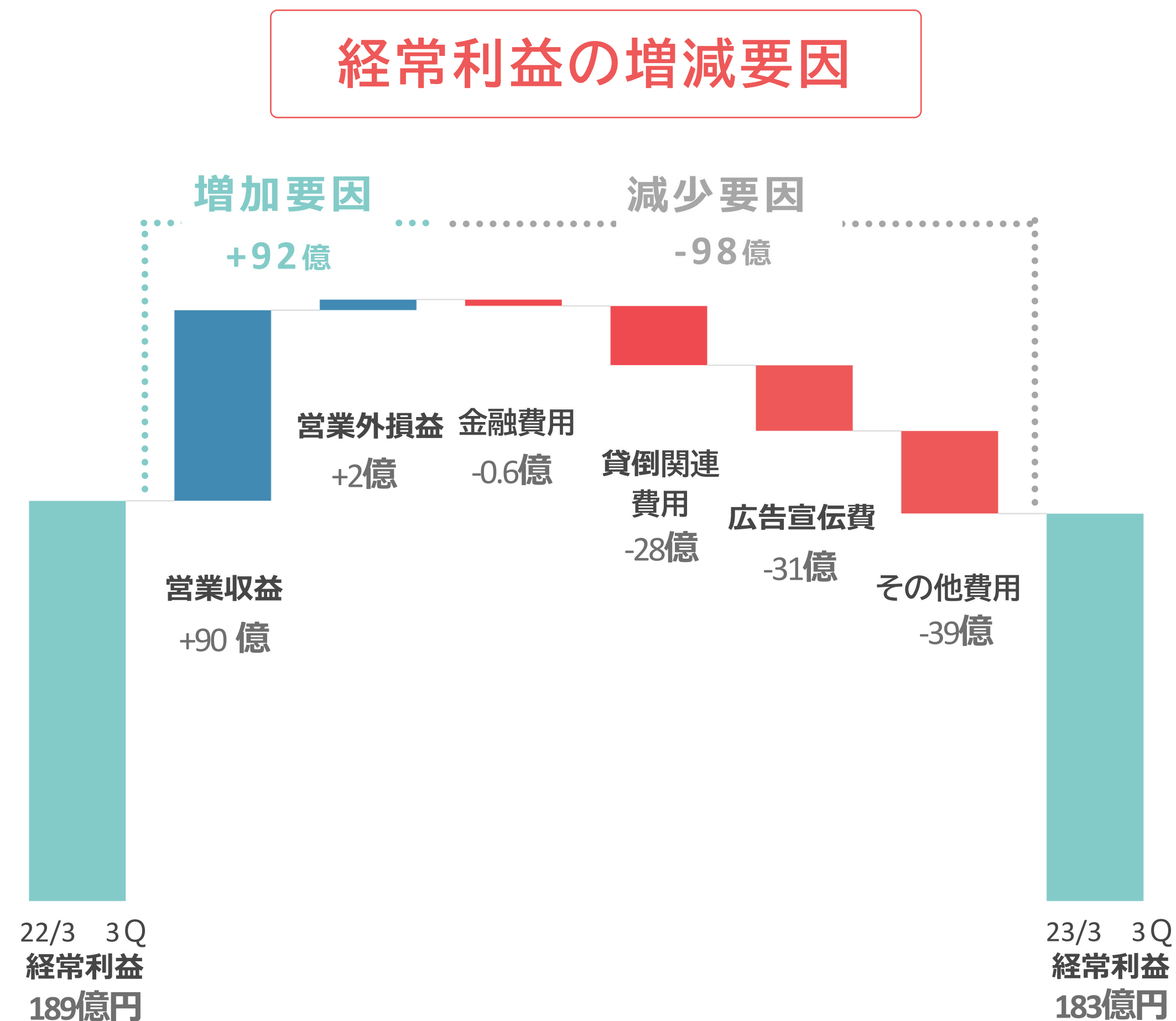
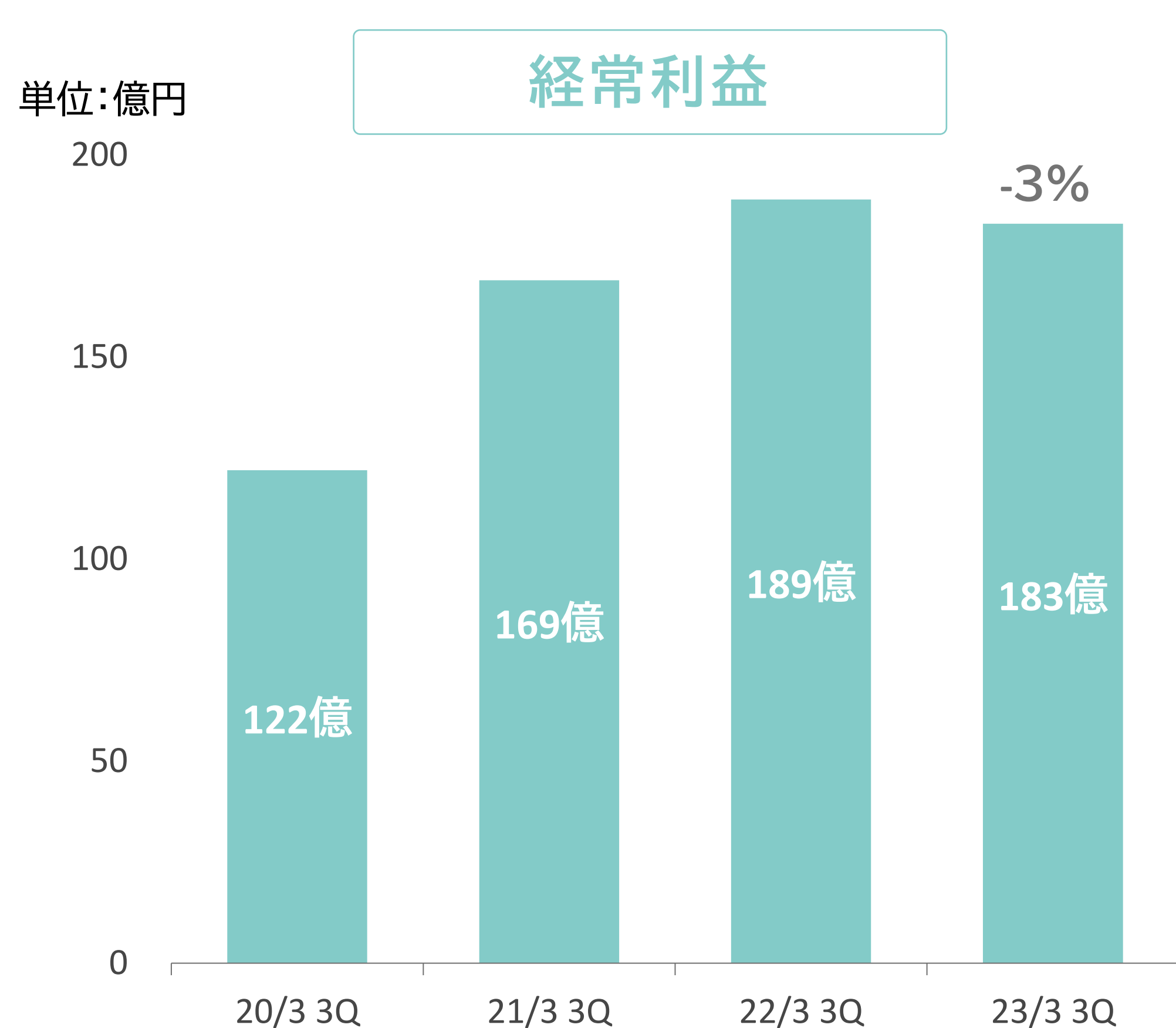


営業収益



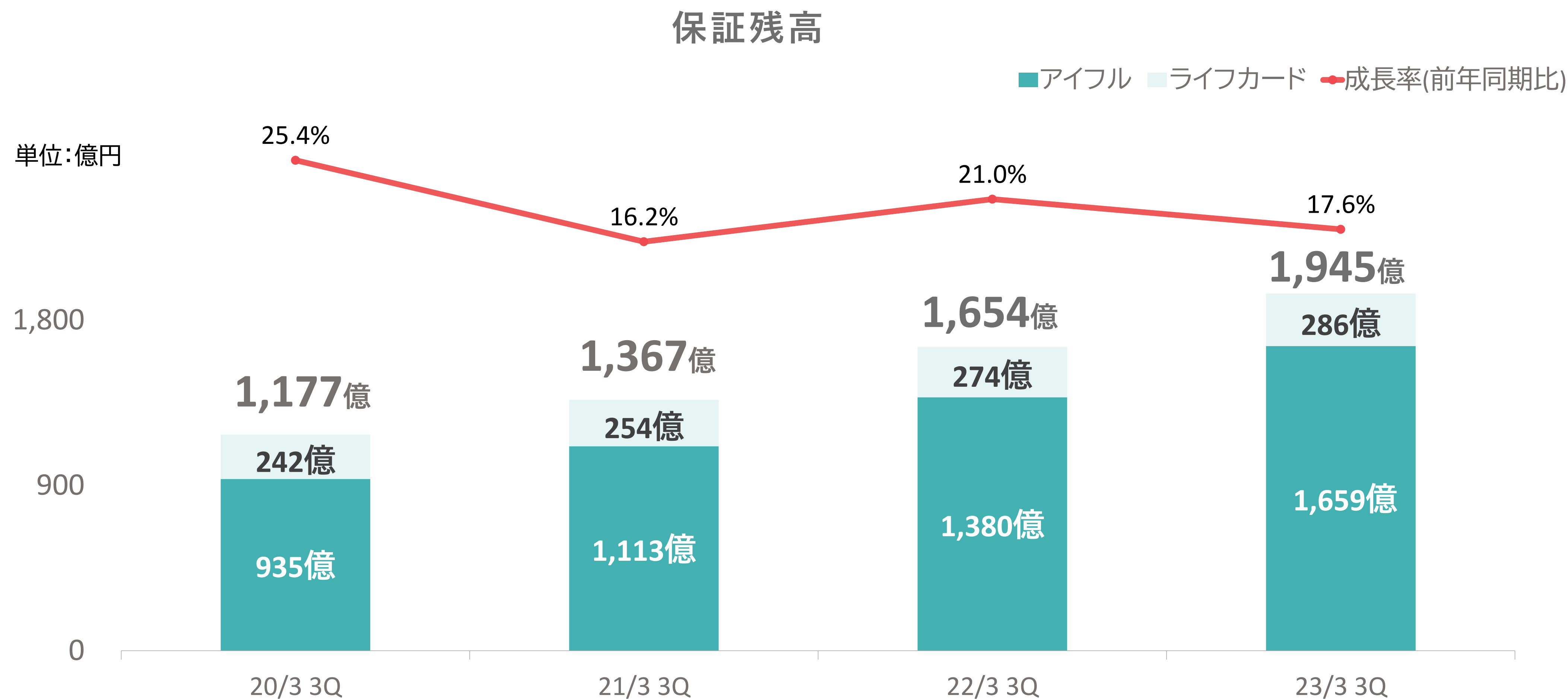
業績ハイライト(経常利益)

- 引き続き好調な新規獲得が営業収益に反映。更なるアセット拡大に向けた広告宣伝費の積極投下および貸倒関連費用の増加影響により、経常利益は前年同期比3%減の183億円となった



信用保証事業/個人・事業者向け保証残高(アイフル/ライフカード)

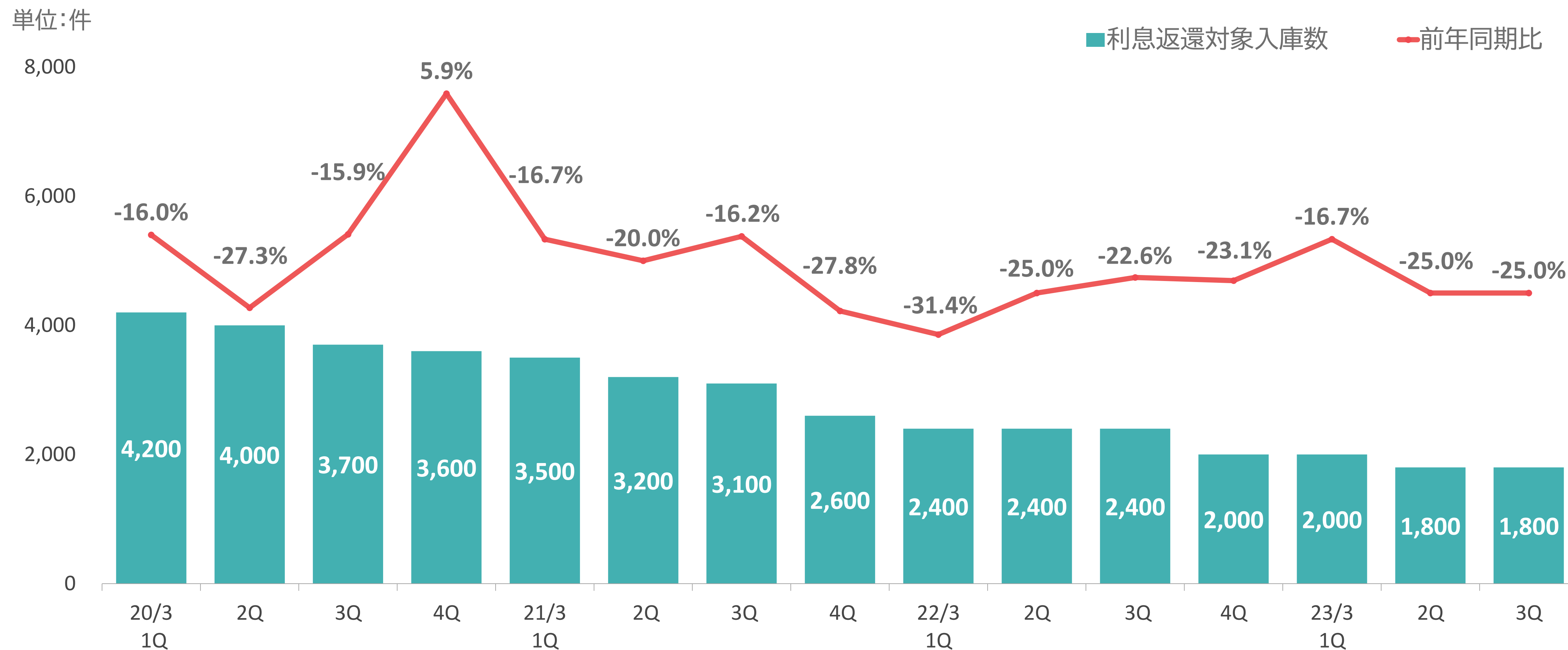
- 商品の多様化や提携先との関係強化に取り組んだ結果、アイフルは前年同期比20.3%増の1,659億円、ライフカードは4.2%増の286億円となった



利息返還/弁護士等介入(連結)

- 利息返還対象となる介入入庫件数は前年同期比25.0%減の1,800件(3ヵ月合計)

弁護士等介入入庫数の推移

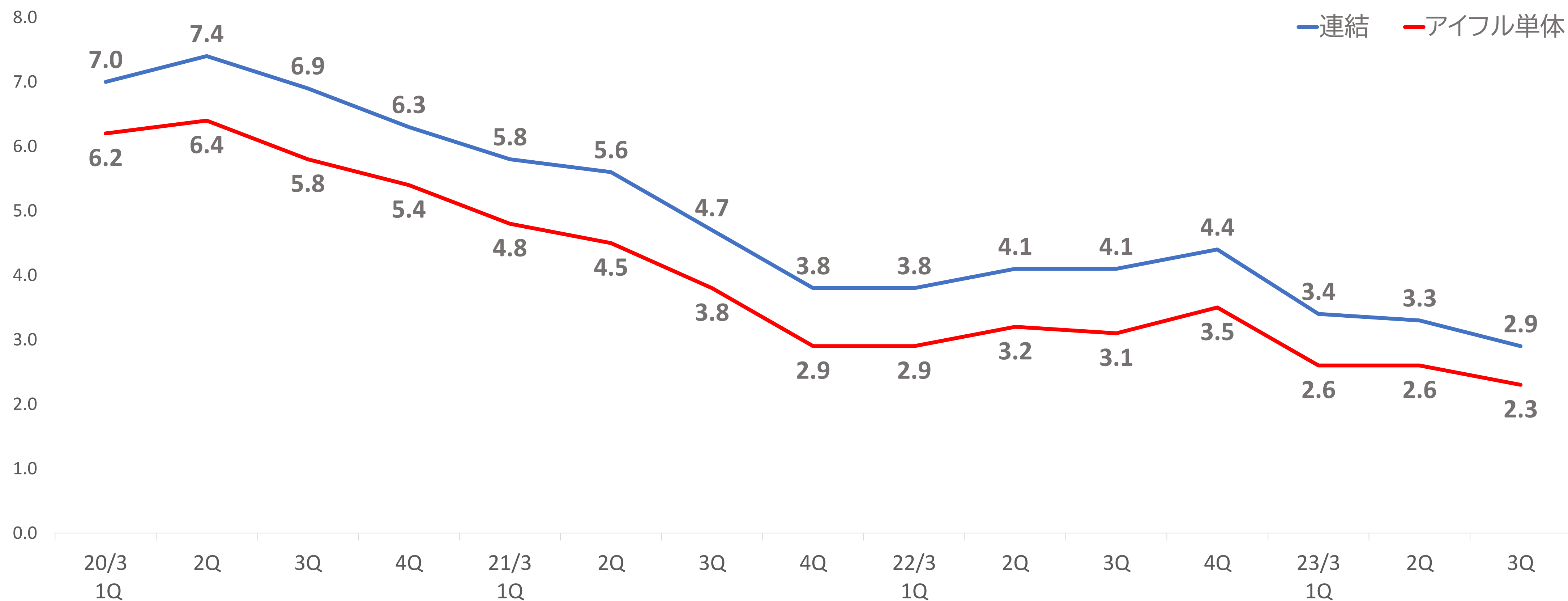


利息返還/未和解件数

- 積極的に和解を進めたことで未和解件数は低位で安定しており、2,900件となった

単位：千件

未和解件数推移



利息返還/引当金の内訳(連結)

- 期首引当金残高274億円から発生額62億円(うち利息返還57億円、債権放棄5億円)を取り崩し、期末引当金残高は212億円
- 3Qの利息返還引当金取崩額は前年同期比25.1%減の19億円(うち利息返還17億円、債権放棄2億円)

利息返還引当金残高(連結)

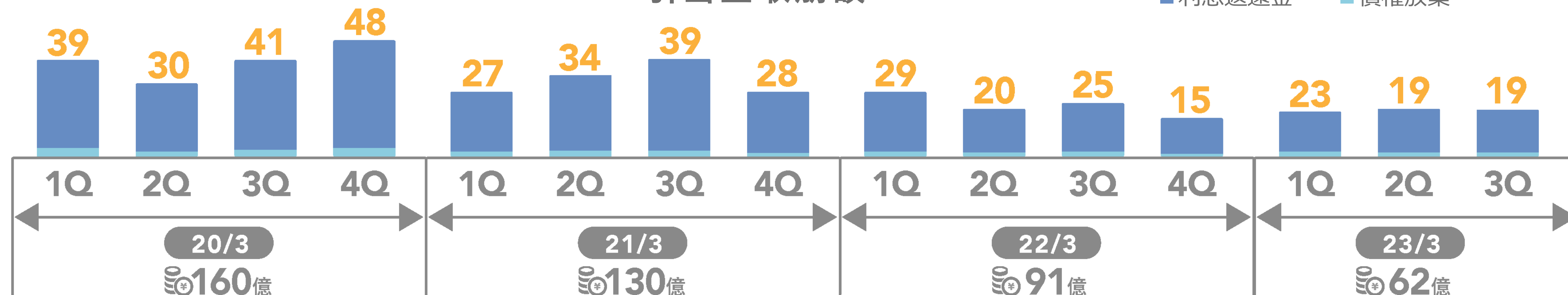
単位:百万円	利息返還 損失引当金	債権放棄 引当金	合計
期首引当金残高	24,594	2,898	27,492
発生額(取崩額)	5,705	556	6,262
繰入額(戻入額)	-	-	-
期末引当金残高	18,888	2,341	21,230

参考:利息返還引当金残高(単体)

利息返還 損失引当金	債権放棄 引当金	合計
21,334	2,414	23,749
5,070	439	5,510
-	-	-
16,264	1,975	18,239

単位:億円

引当金取崩額

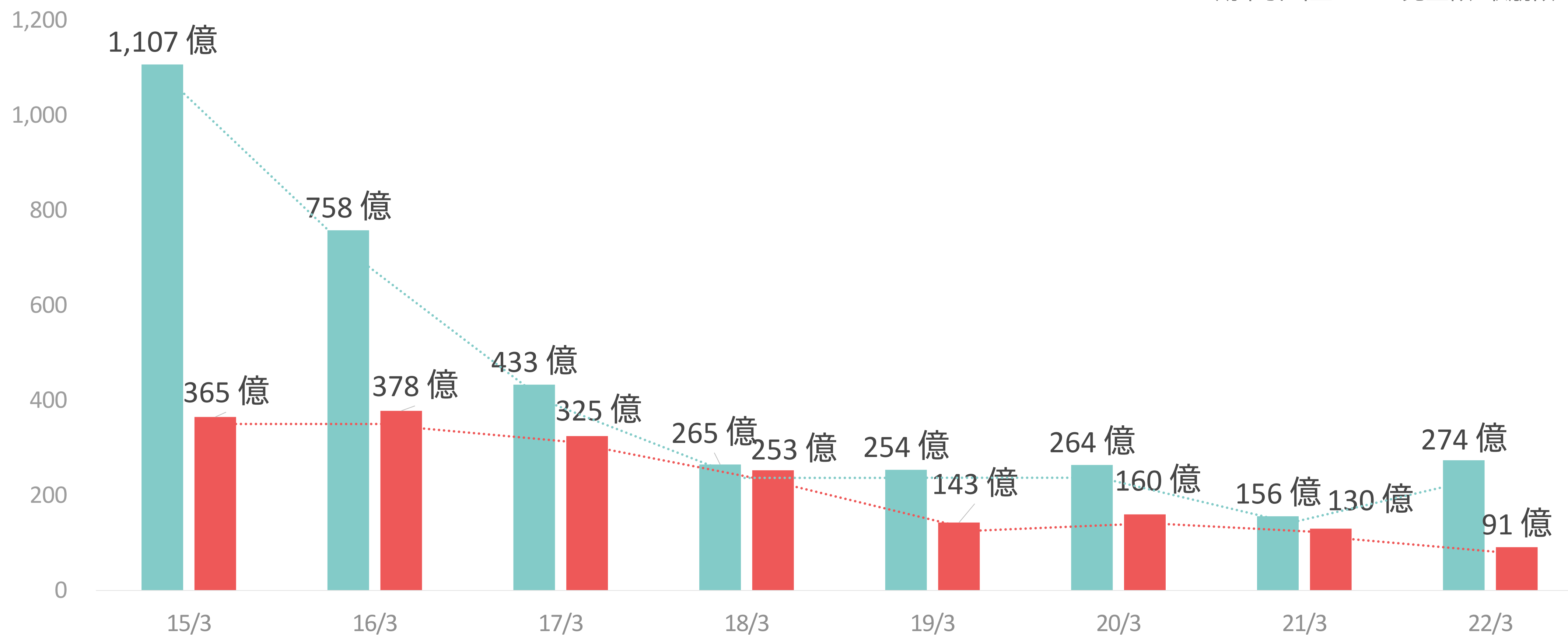


利息返還金と期末引当金残高の推移(連結)

- 利息返還請求の減少とともに、利息返還引当金期末残高も減少
- 2022年3月期末に209億円(うち利息返還199億円、債権放棄10億円)の追加繰入を実施し安全性を確保

単位：億円

■ 期末引当金 ■ 発生額・取崩額

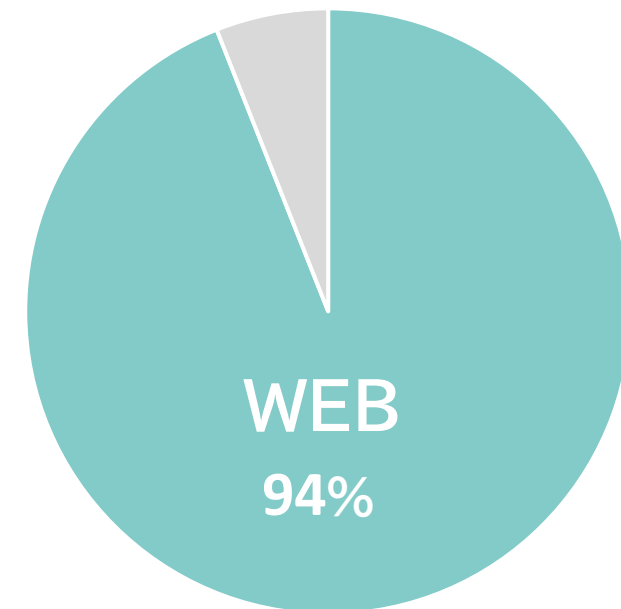


03 アイフルグループの『変化』

変化: デジタル化・内製化の取り組み

営業

■ Web申込が90%を超える



■ 内製化によるアプリ評価の向上

アプリの改修回数

2021年4月
~2021年12月 計 **32** 回

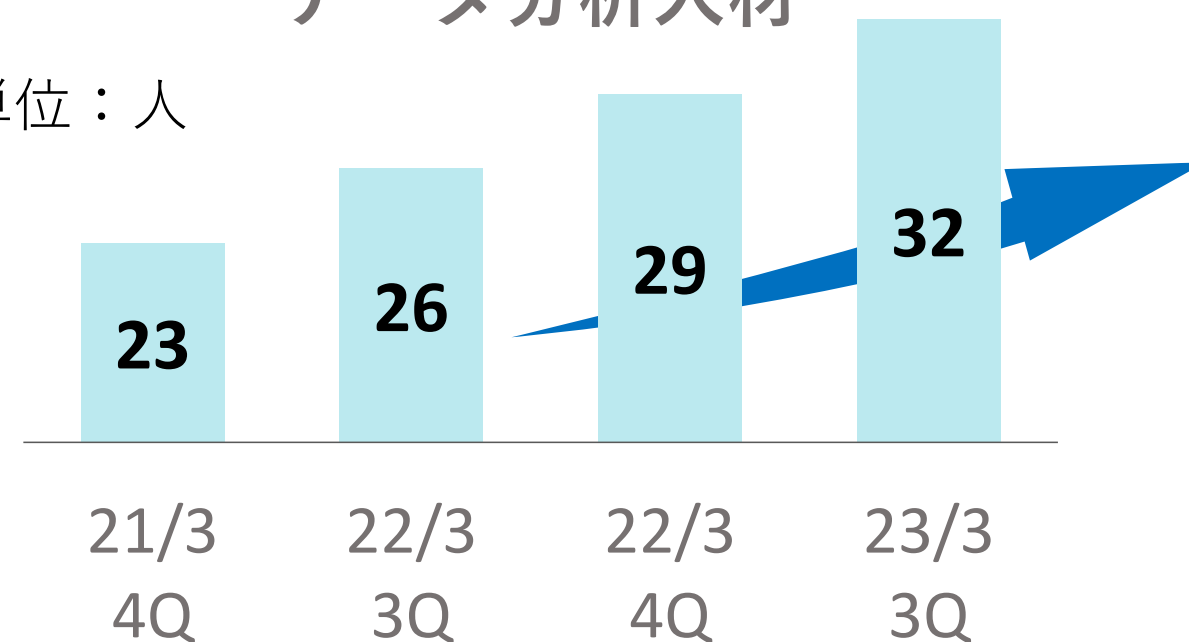
2022年4月
~2022年12月 計 **38** 回

	2020年4月	2022年12月
iOS	★★★☆☆ 2.7	★★★★★ 4.6
Android	★★★☆☆ 3.7	★★★★★ 4.6

与信

データ分析人材

単位：人



- 与信精度の向上を目指し、ビッグデータを活用。新たな与信アイテムとしての可能性について、適時検証および研究を進める
- データ高度分析人材の確保に注力。2022年12月末に、計32名まで増加

回収

人員数（処理必要人員数）

2019年3月比
2022年12月時点

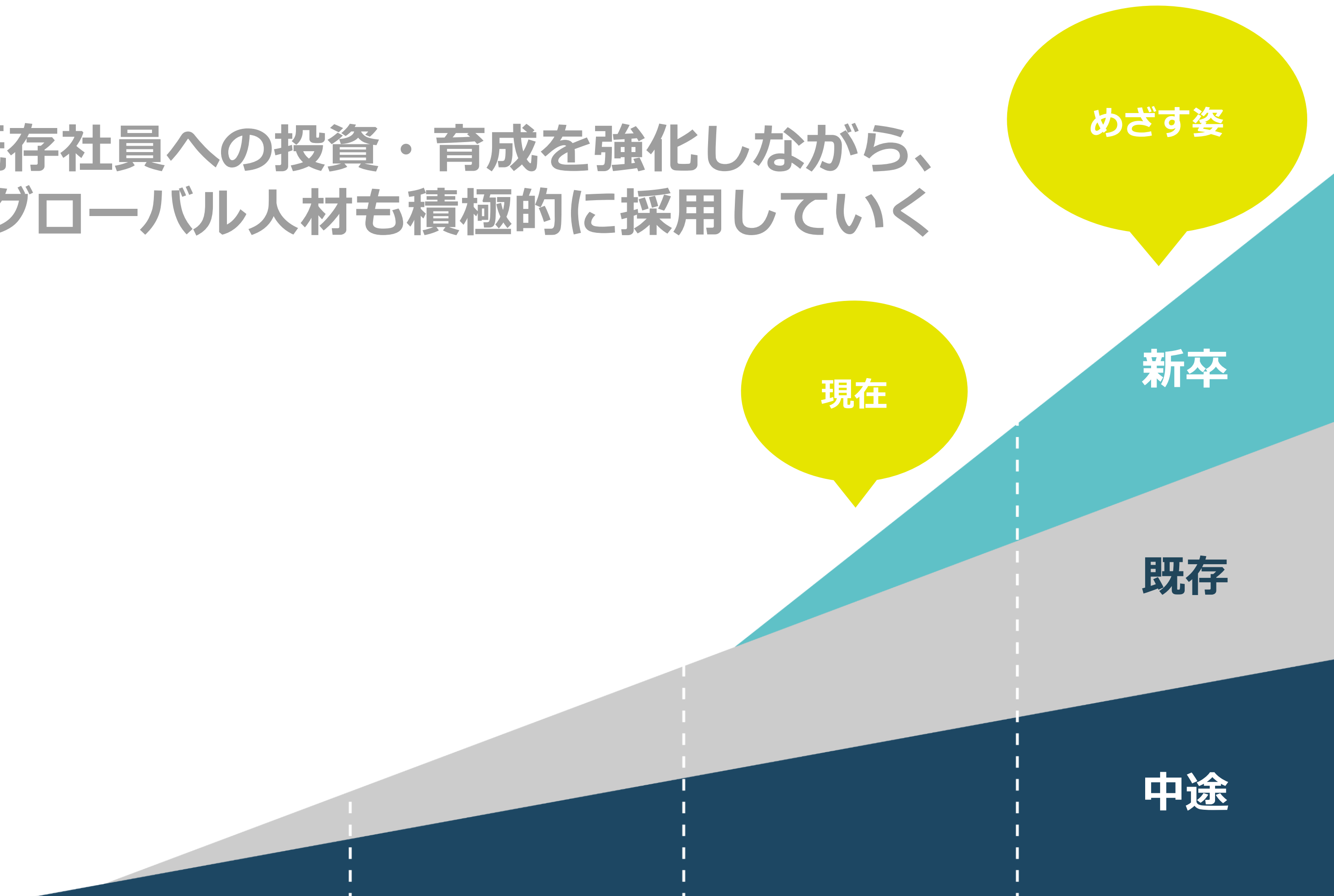
36% 減少

- 2014年より導入しているIVR(自動音声架電システム)の改修を内製化
- 回収スコアリングの導入により、回収難度に基づくランク分類を実施
IVR・SMS(ショートメッセージサービス)・Eメールと複合させた回収を行い、人員数を削減

変化:IT人材戦略

IT金融グループを目指して

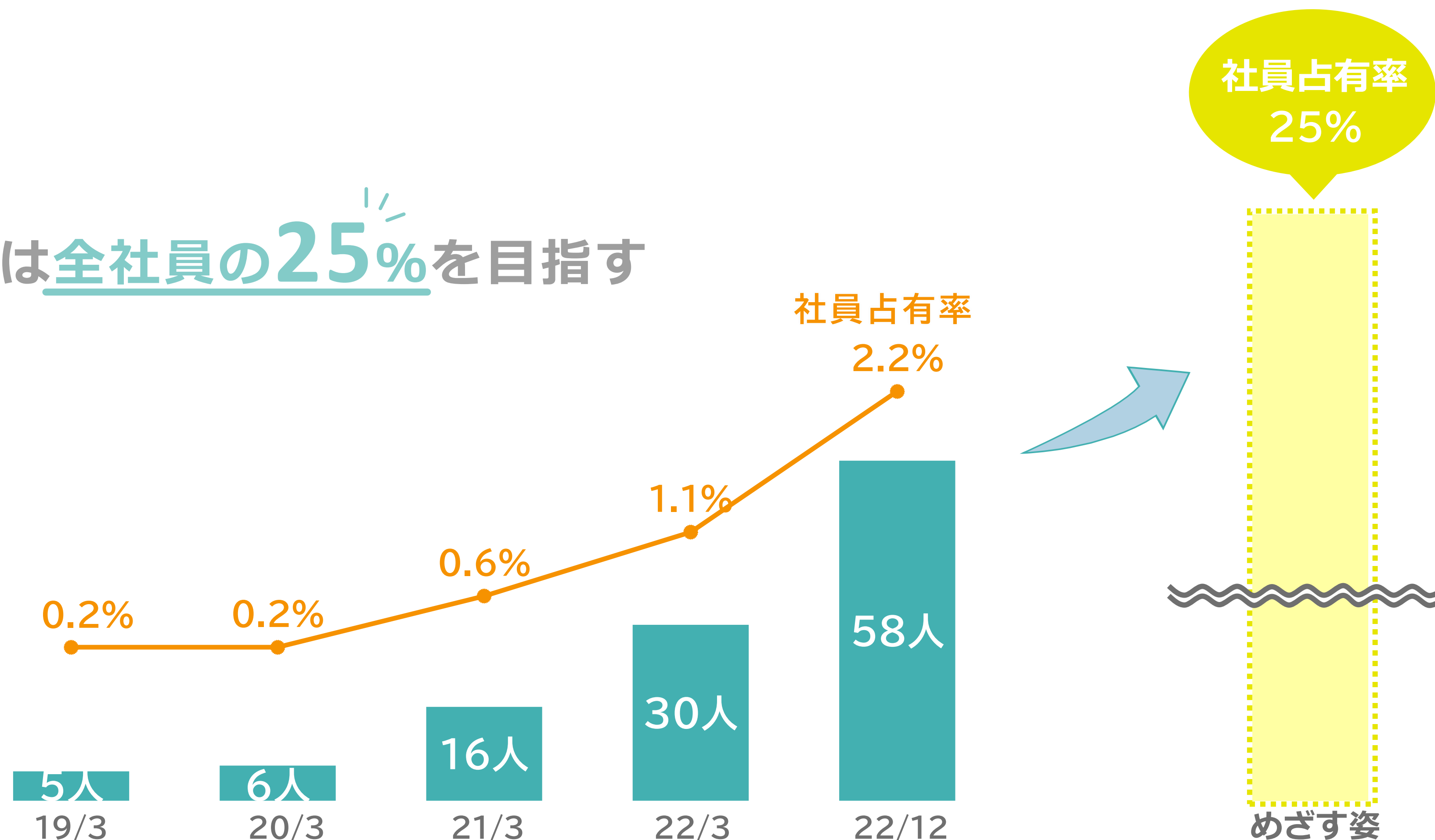
中途採用や既存社員への投資・育成を強化しながら、
新卒社員・グローバル人材も積極的に採用していく



変化:IT人材戦略

IT金融グループを目指して

エンジニアは全社員の25%を目指す



LTV/CPA

LTV = 顧客生涯利益(顧客の利用期間に応じて生じる生涯利益、広告宣伝費を除き算出)

CPA = 一顧客当たりの獲得単価

アイフル(無担保ローン)

CPA控除後のLTV

9.3万円

13.9万円

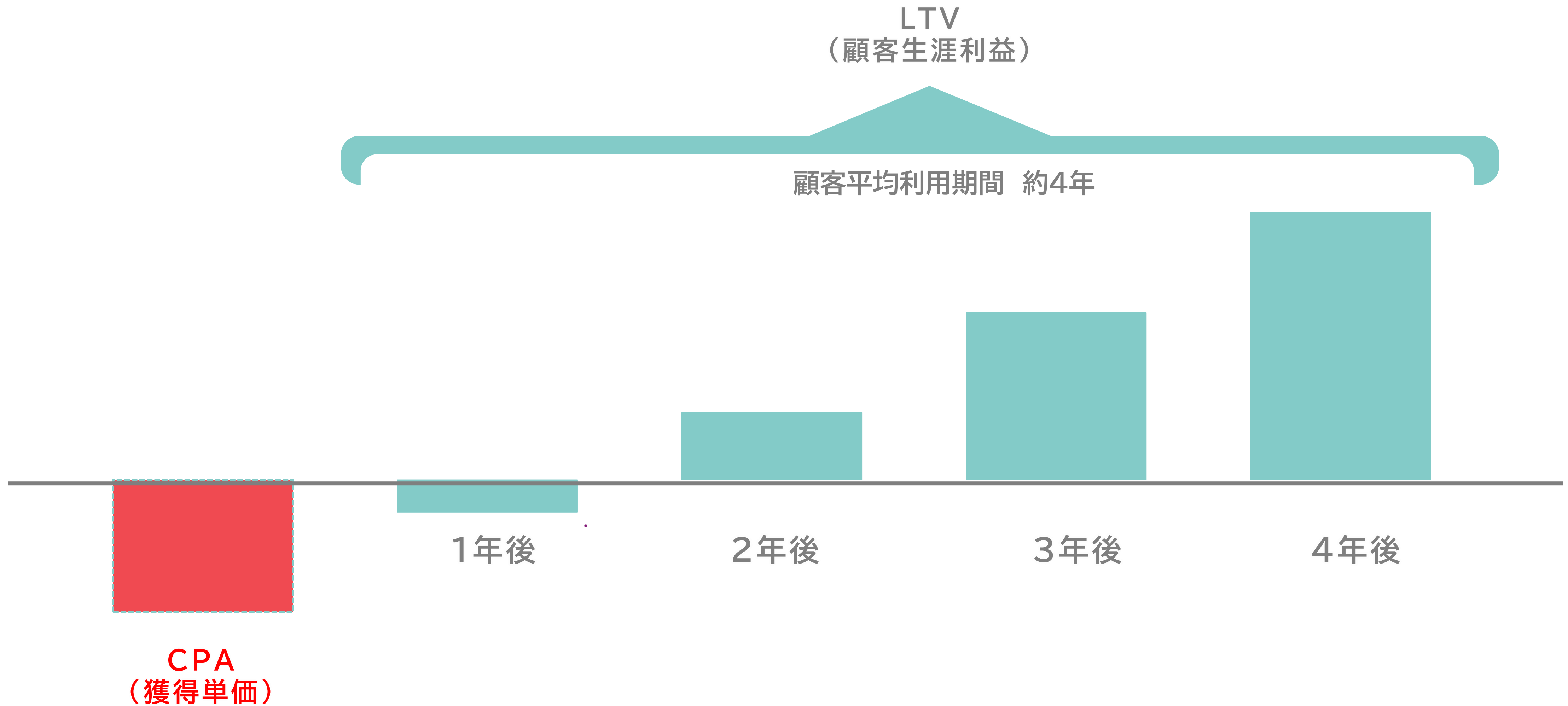
4.6万円

将来

営業貸付金残高

※LTV:キャッシングローンからおまとめMAX・事業者ローンに移行した顧客も含めた定義にて算出
(23/3 2QはキャッシングローンのみのLTV)

無担保ローン LTV/CPA



04 アイフル決算概況

営業実績

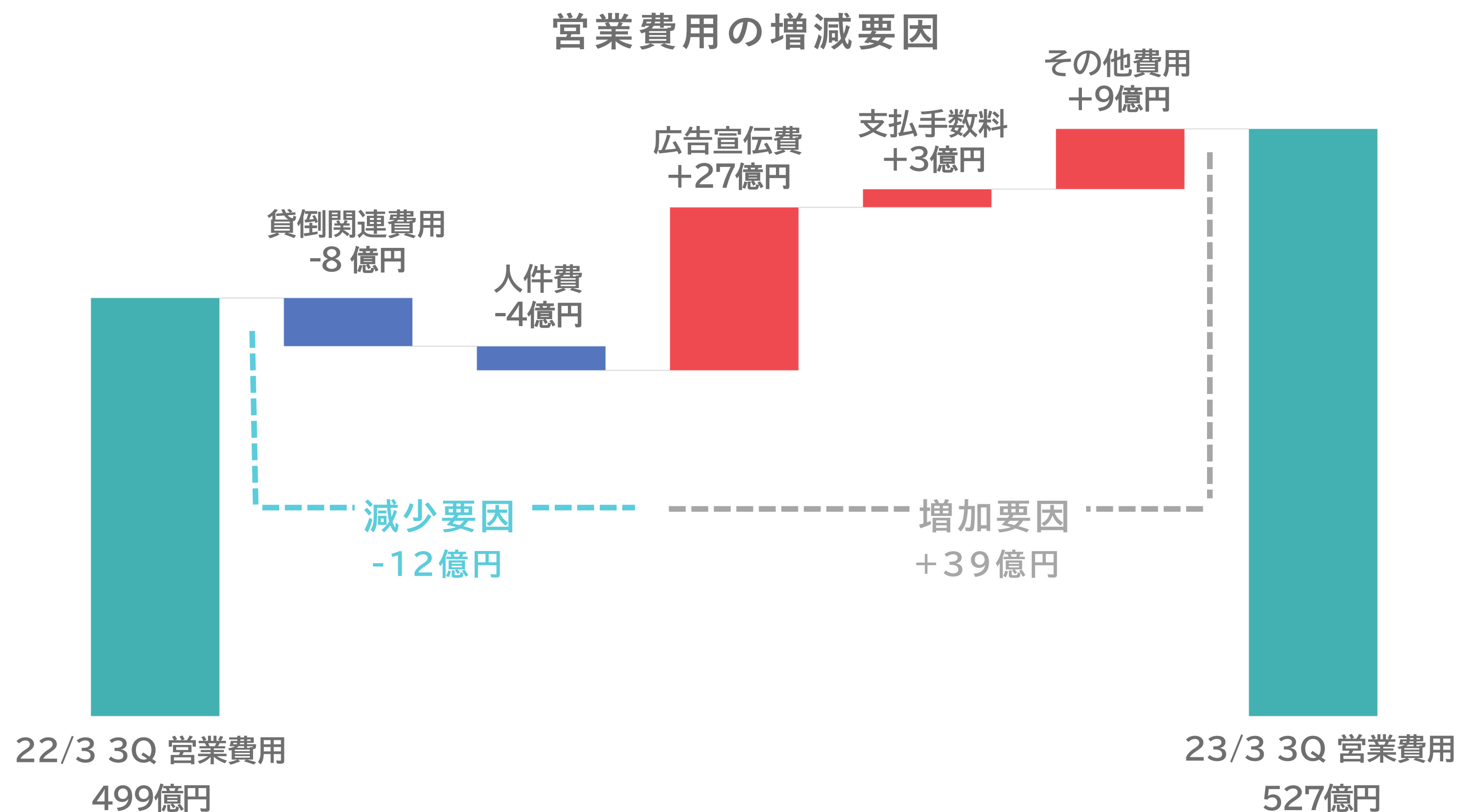
単位:百万円	22/3 3Q	23/3 3Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業債権残高	604,484	667,138	62,653	10.4%
営業貸付金残高	452,723	487,131	34,407	7.6%
無担保ローン	440,609	474,594	33,984	7.7%
有担保ローン	3,783	2,687	-1,096	-29.0%
事業者ローン	8,329	9,849	1,519	18.2%
信用保証残高	142,425	168,644	26,218	18.4%
新規顧客数 (件)	153,074	212,087	59,013	38.6%
無担保ローン	153,004	212,021	59,017	38.6%
口座数 (千件)	959	1,064	104	10.9%
無担保ローン	948	1,052	104	11.0%
貸付量	152,711	170,255	17,541	11.5%
新規顧客	25,766	31,296	5,529	21.5%
既存顧客	126,946	138,959	12,012	9.5%
営業貸付金利回り	14.5%	14.5%	0.0pt	—
無担保ローン18%以下残高占有率	99.3%	99.4%	0.1pt	—
貸倒発生額	16,950	17,468	517	3.1%
利息返還に係る貸倒以外の貸倒額	16,366	17,029	662	4.0%
貸倒償却率	2.8%	2.6%	-0.2pt	—
利息返還に係る貸倒以外の貸倒率	2.7%	2.6%	-0.1pt	—

決算概要

単位:百万円	22/3 3Q	23/3 3Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業収益	62,252	66,511	4,259	6.8%
営業貸付金利息	47,216	50,782	3,566	7.6%
信用保証収益	8,530	9,214	684	8.0%
営業費用	49,943	52,703	2,759	5.5%
金融費用	4,130	4,053	-77	-1.9%
貸倒関連費用	19,567	18,722	-845	-4.3%
利息返還関連費用	-	-	-	-
宣伝関連費用	7,323	10,177	2,853	39.0%
広告宣伝費	7,116	9,865	2,748	38.6%
販売促進費	206	312	105	51.0%
人件費	7,542	7,131	-411	-5.4%
その他費用	11,379	12,618	1,238	10.8%
営業利益	12,308	13,808	1,500	12.2%
営業外収益	1,161	12,342	11,181	962.6%
営業外費用	21	11	-9	-46.1%
経常利益	13,448	26,140	12,691	94.4%
特別利益	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-
当期純利益	13,177	25,049	11,871	90.1%

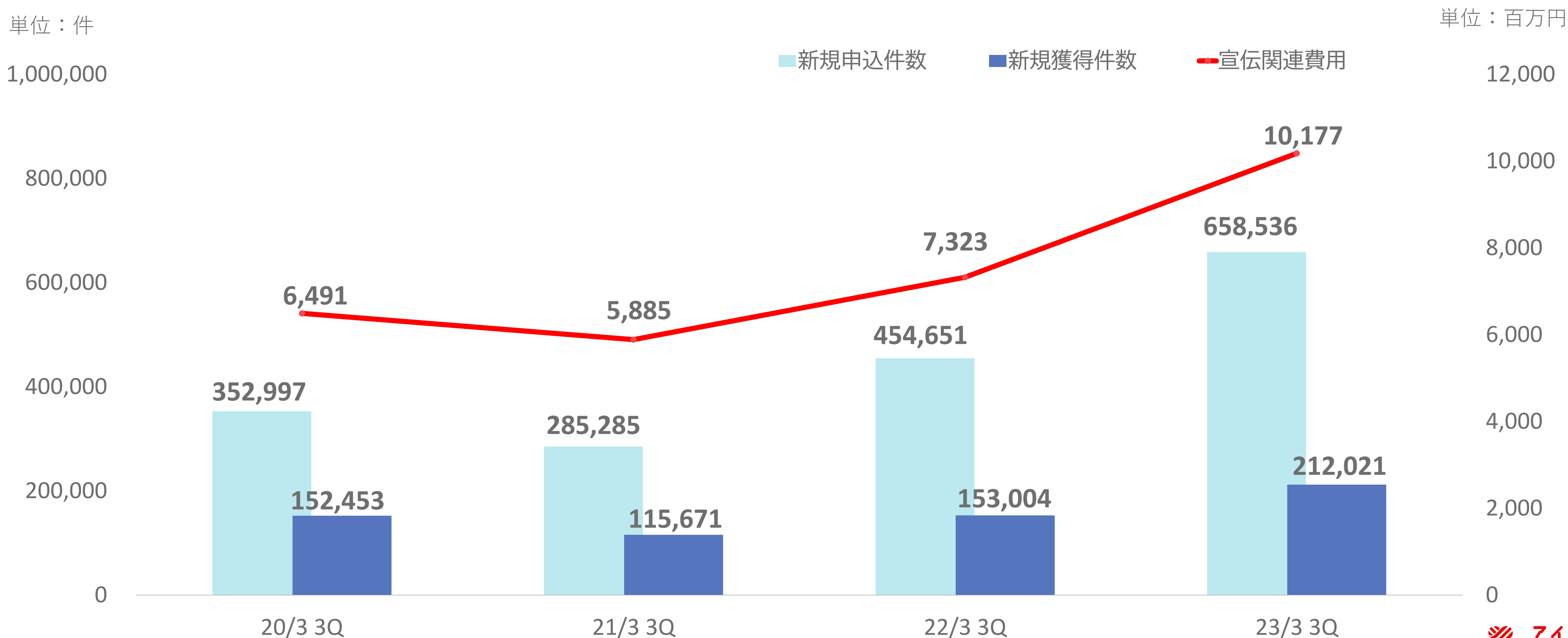
決算概要 / 営業費用の分解

- 営業費用は貸倒関連費用を中心に12億円減少した一方、新規貸付拡大を目的とした広告宣伝等の投下により39億円増加した結果、前年同期比28億円増の527億円となった
- 貸倒関連費用は、貸倒引当金の算出方法の見直しを行い、債権区分ごとの回収率に応じた適切な引当率を設定した結果、前年同期比8億円減の187億円となった



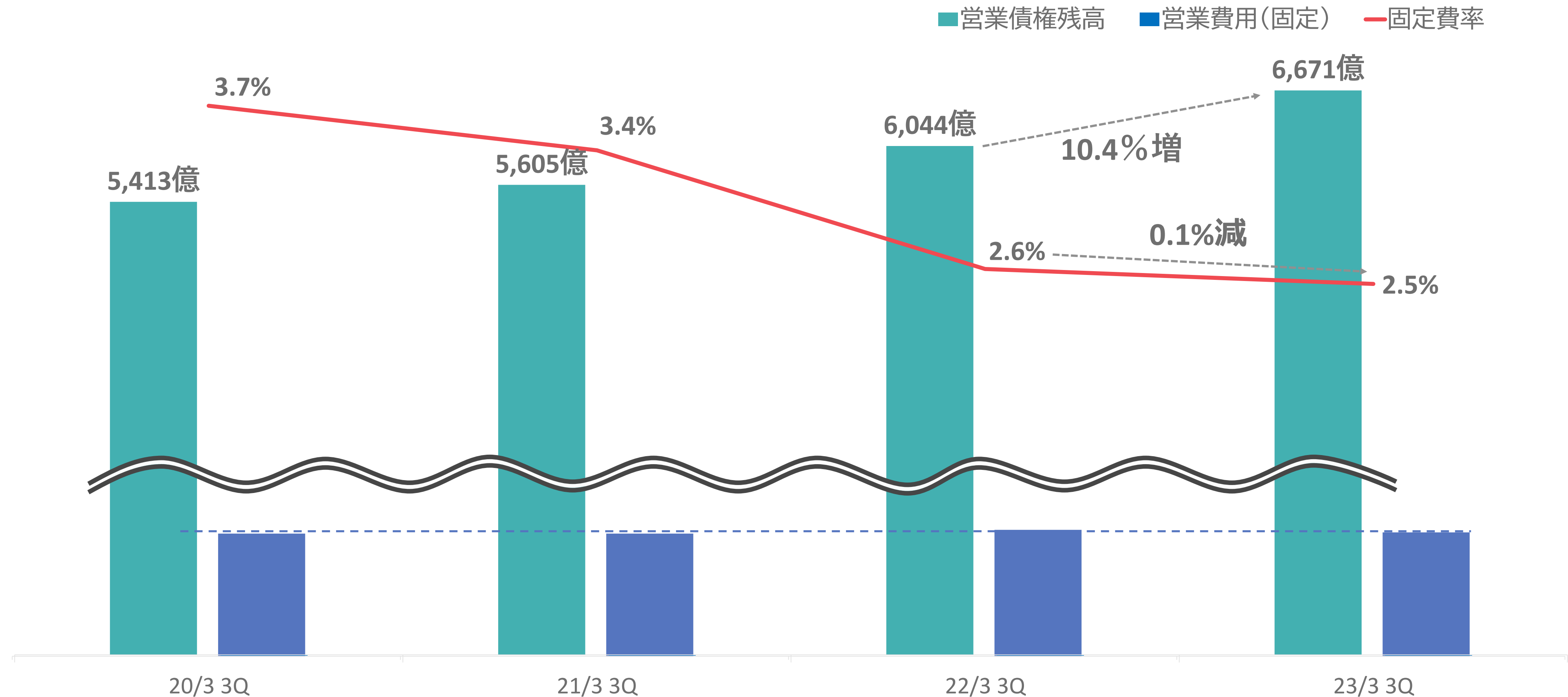
ローン事業/新型コロナ影響下の宣伝関連費用と新規獲得の相関

- 新型コロナの影響により資金需要が前々期に大きく落ち込んだが、市場環境の動きに合わせた適切な宣伝関連費用の投下やWeb広告の強化・お客様の利便性向上を追求し、申込フォームのUI/UXの改善を継続的に実施
- 結果、新規申込件数は前年同期比44.8%増の65.8万件、新規獲得件数は38.6%増の21.2万件、CPAは2.3%減の46千円



営業債権残高と固定費の推移

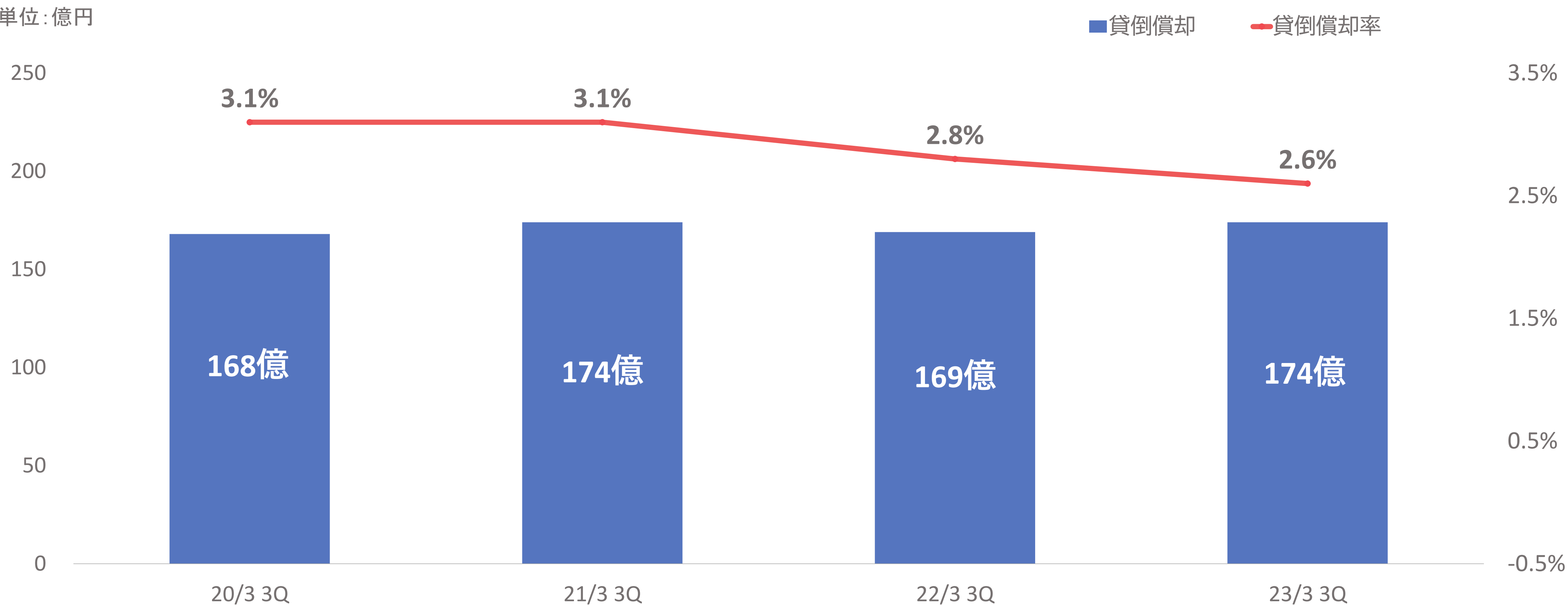
- 新規獲得拡大を目指した広告宣伝費の積極投下により、営業債権残高は前年同期比10.4%増
- DXや内製化等の取組みにより固定費率が低下
- 2023年3月期第3四半期の営業債権残高に占める固定費率は前年同期比0.1pt減の2.5%



不良債権 / 貸倒償却

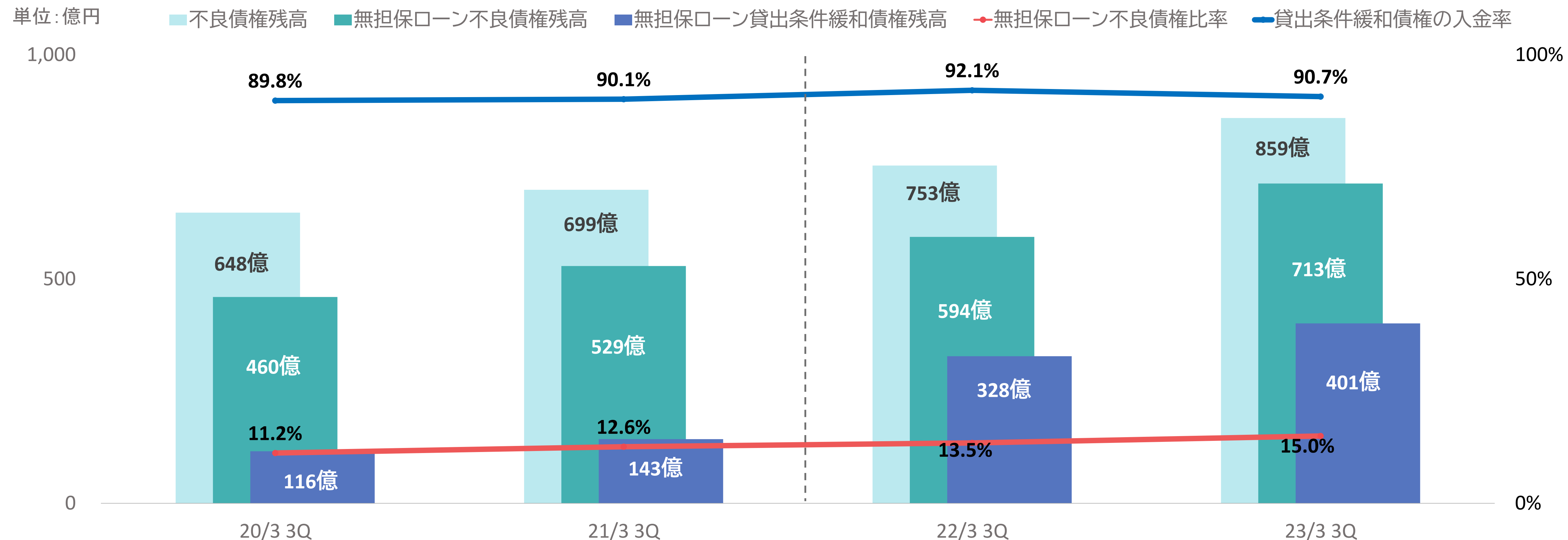
- 貸倒償却は前年同期比1.2%増の174億円となった一方で、償却率は前年同期比0.2pt減の2.6%と低位安定

単位: 億円



不良債権/無担保ローン不良債権

- 定期的な入金が見込める和解債権(貸出条件緩和債権)の増加を主要因として、無担保ローン不良債権残高は前年同期比20.0%増の713億円、不良債権比率は1.5pt増の15.0%となった



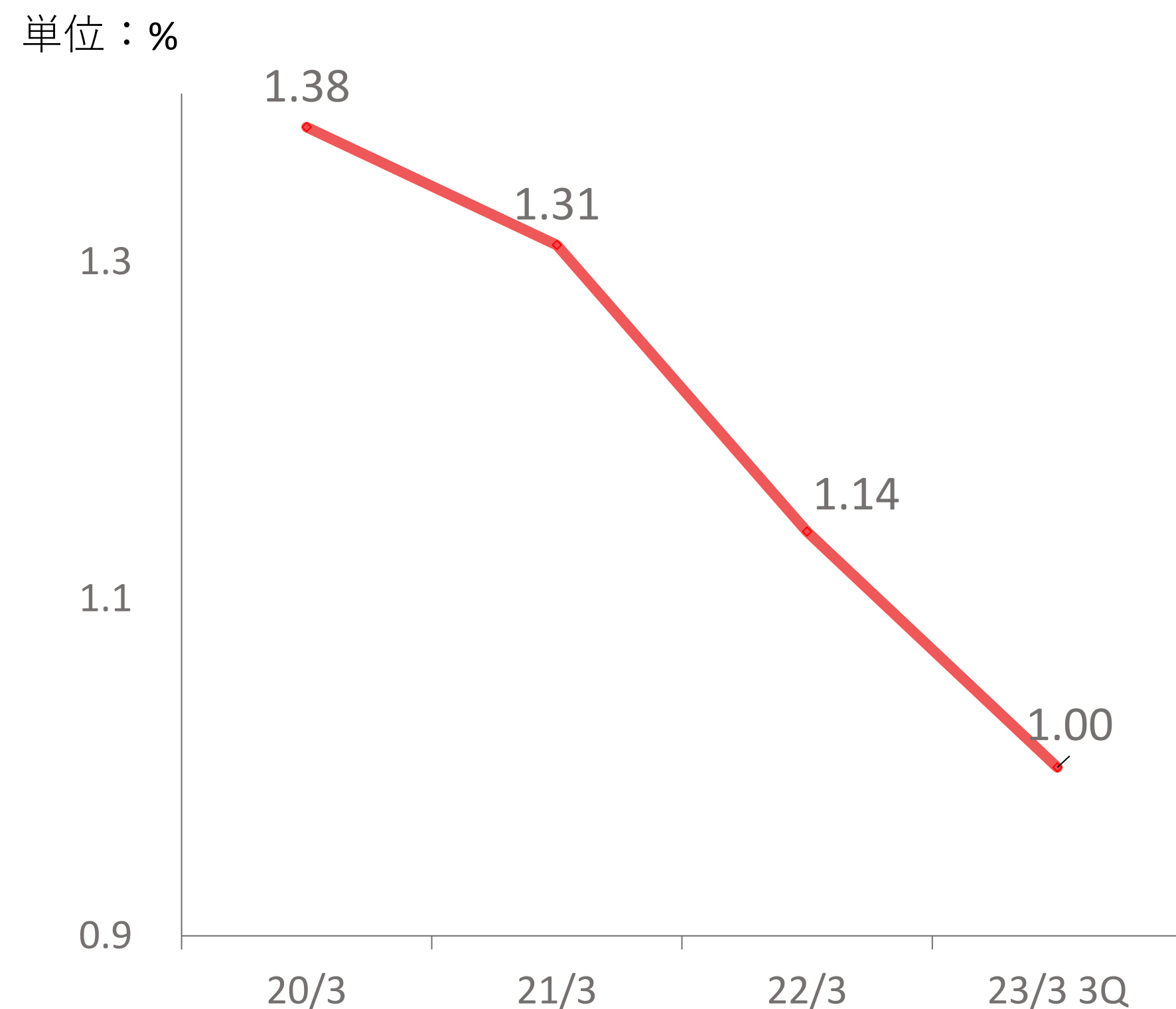
※1 2021年3月期第4四半期より、「延滞債権」に含めていた「定期的に入金がある和解債権」を、より実態に即した「貸出条件緩和債権」に含んでおります

※2 2022年3月31日に「特定金融会社等の会計の整理に関する内閣府令」の「不良債権に関する注記」が改正されたため、同府令の改正後の区分等により表示しております

資金調達

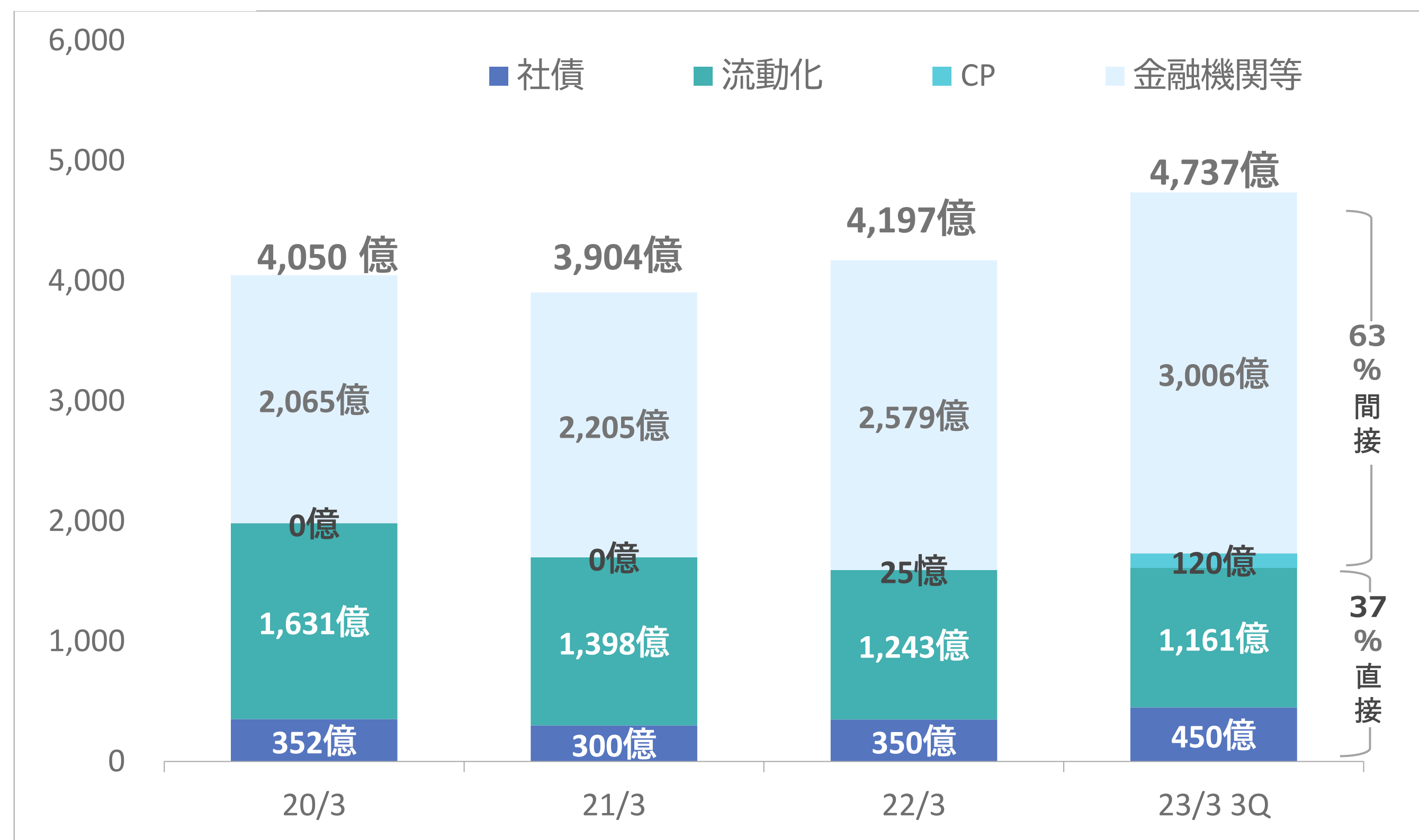
- 2022年11月に外部格付け(JCR)が1ノッチアップし「BBB+/ポジティブ」
- 調達金利: 信用力向上および外部格付け等格上げにより直接・間接ともに低下傾向
- 調達金額: 営業債権残高伸長に伴う調達金額の増加により、前期末比12.9%増の4,737億円

調達金利



調達金額

単位: 億円



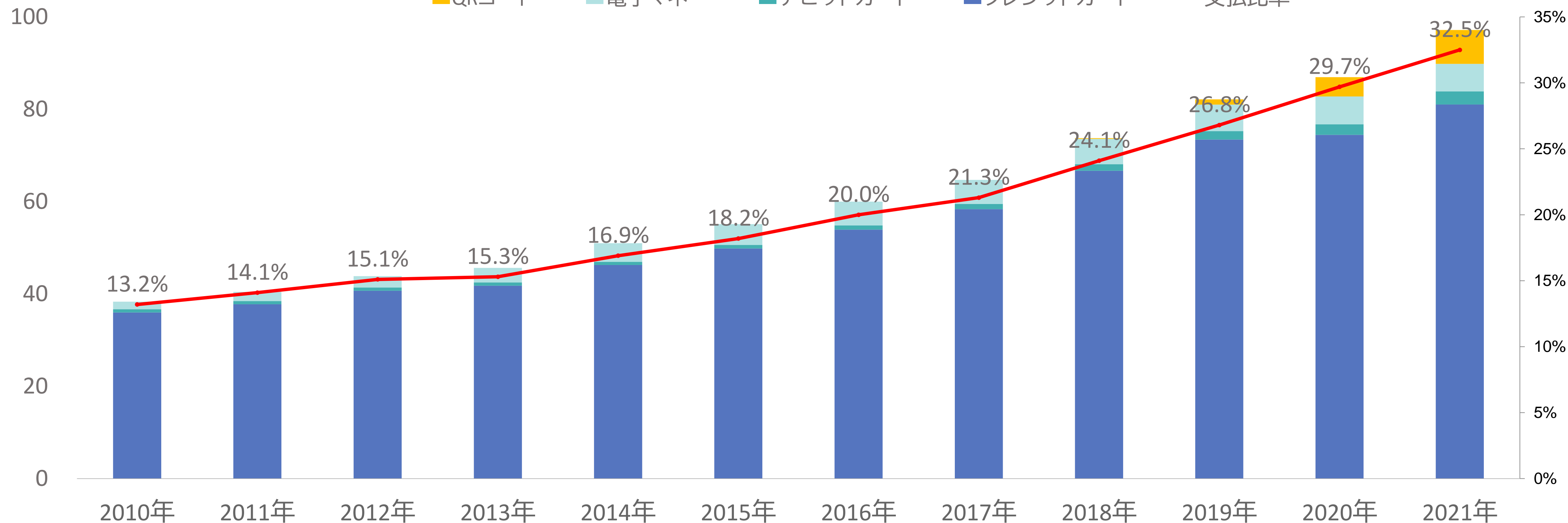
05 ライフカード決算概況

キャッシュレス市場

- 2021年のキャッシュレス決済比率は32.5%と順調に推移、経済産業省は2025年までに4割程度、将来的には世界最高水準の80%まで上昇させる方針を提示

キャッシュレス支払額及び決済比率の推移

単位：兆円



営業実績

単位:百万円	22/3 3Q	23/3 3Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業債権残高	166,610	169,945	3,335	2.0%
営業貸付金残高	33,285	32,001	-1,284	-3.9%
キャッシング	23,762	22,987	-775	-3.3%
割賦売掛金残高	104,529	107,595	3,065	2.9%
リボ・分割	52,760	52,791	31	0.1%
信用保証残高	27,468	28,610	1,142	4.2%
新規発行数 (千枚)	250	325	74	29.8%
プロパーカード	67	117	50	75.7%
提携カード	183	207	23	13.0%
有効会員数(千人)	5,255	5,138	-116	-2.2%
プロパーカード	1,387	1,376	-10	-0.8%
提携カード	3,867	3,762	-105	-2.7%
貸倒発生額	2,628	2,617	-10	-0.4%
利息返還に係る貸倒以外の貸倒額	2,510	2,500	-10	-0.4%
貸倒償却率	1.6%	1.5%	-0.1pt	-
利息返還に係る貸倒以外の貸倒率	1.5%	1.5%	0.0pt	-

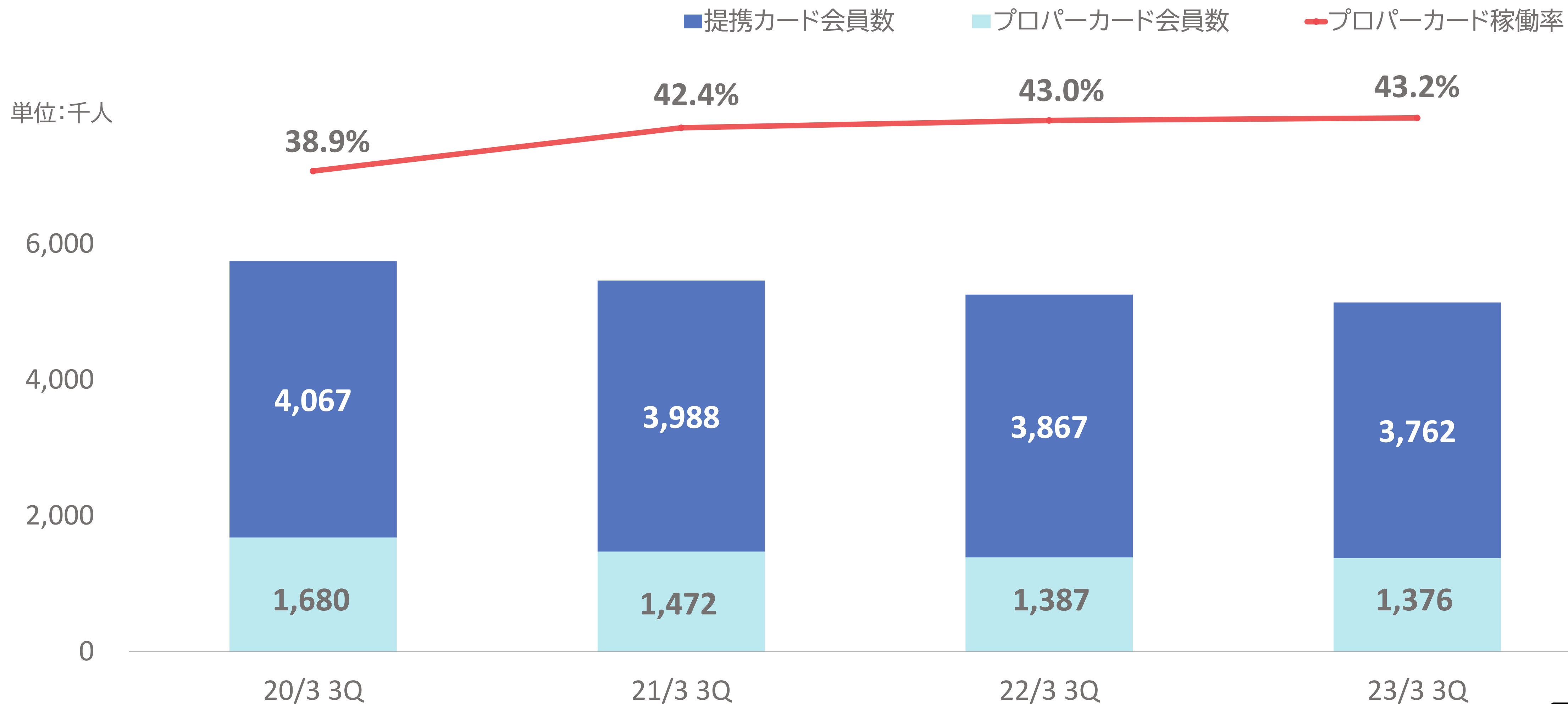
決算概要

単位:百万円	22/3 3Q ※	23/3 3Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業収益	25,104	26,773	1,668	6.6%
信用購入あっせん収益	13,993	15,243	1,249	8.9%
営業貸付金利息	3,104	2,828	-276	-8.9%
信用保証収益	1,304	1,374	69	5.3%
その他収益	6,702	7,327	625	9.3%
営業費用	21,862	24,920	3,058	14.0%
金融費用	824	777	-47	-5.7%
貸倒関連費用	2,395	3,257	862	36.0%
利息返還関連費用	-	-	-	-
広告宣伝費	726	984	258	35.7%
販売促進費	2,047	2,426	379	18.5%
人件費	3,454	3,792	337	9.8%
その他費用	12,413	13,682	1,268	10.2%
営業利益	3,242	1,852	-1,390	-42.9%
経常利益	3,353	1,955	-1,397	-41.7%
当期純利益	3,492	1,540	-1,951	-55.9%

※ 2022年3月期第3四半期の数値は、2022年4月1日にライフカードが吸収合併したすみしんライフカードの実績を含めております

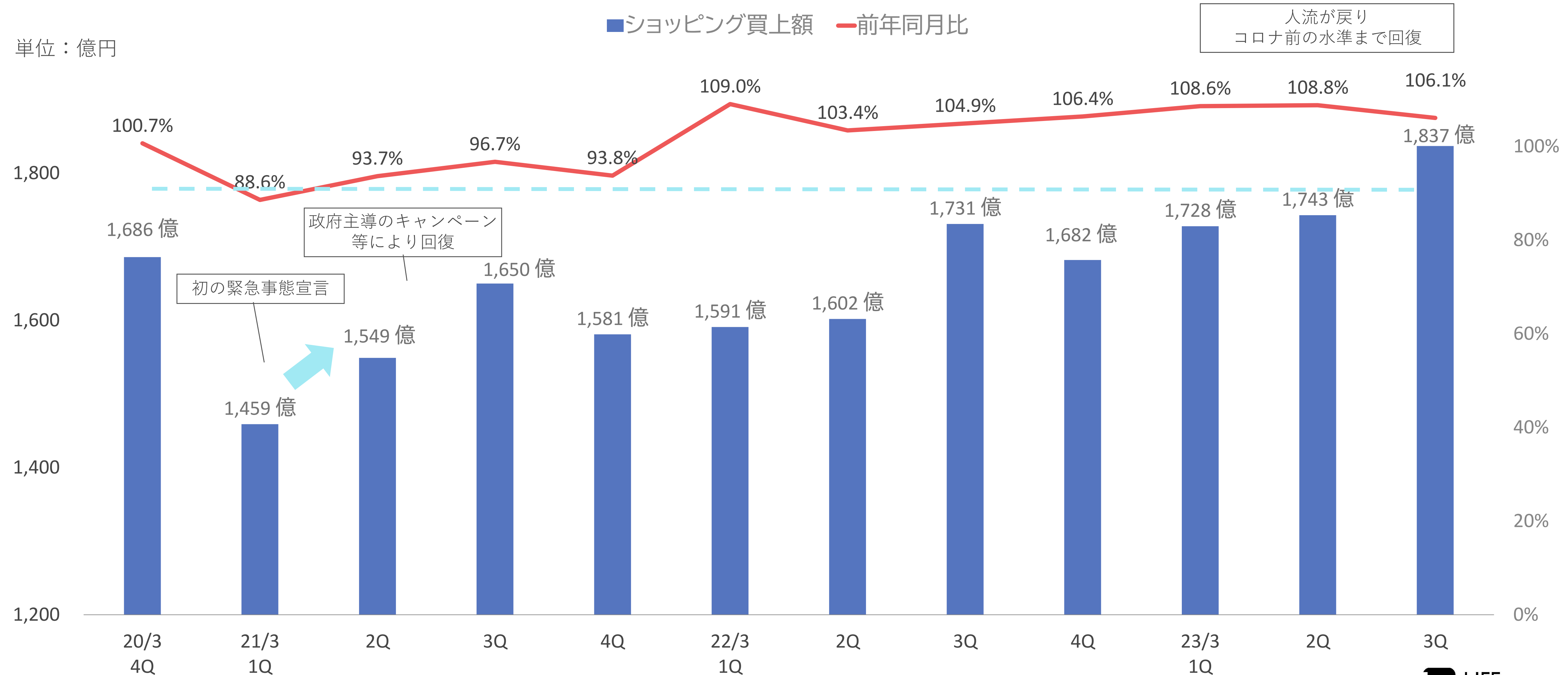
有効カード会員数・稼働率

- 稼働重視の獲得手法の推進や、WEBサイト及びスマホアプリのリニューアルにより稼働率は43.2%に上昇



四半期毎 買上額推移

- WEBを中心とする新しい生活様式が浸透し、経済活動が回復したことにより、ショッピング買上は堅調に推移

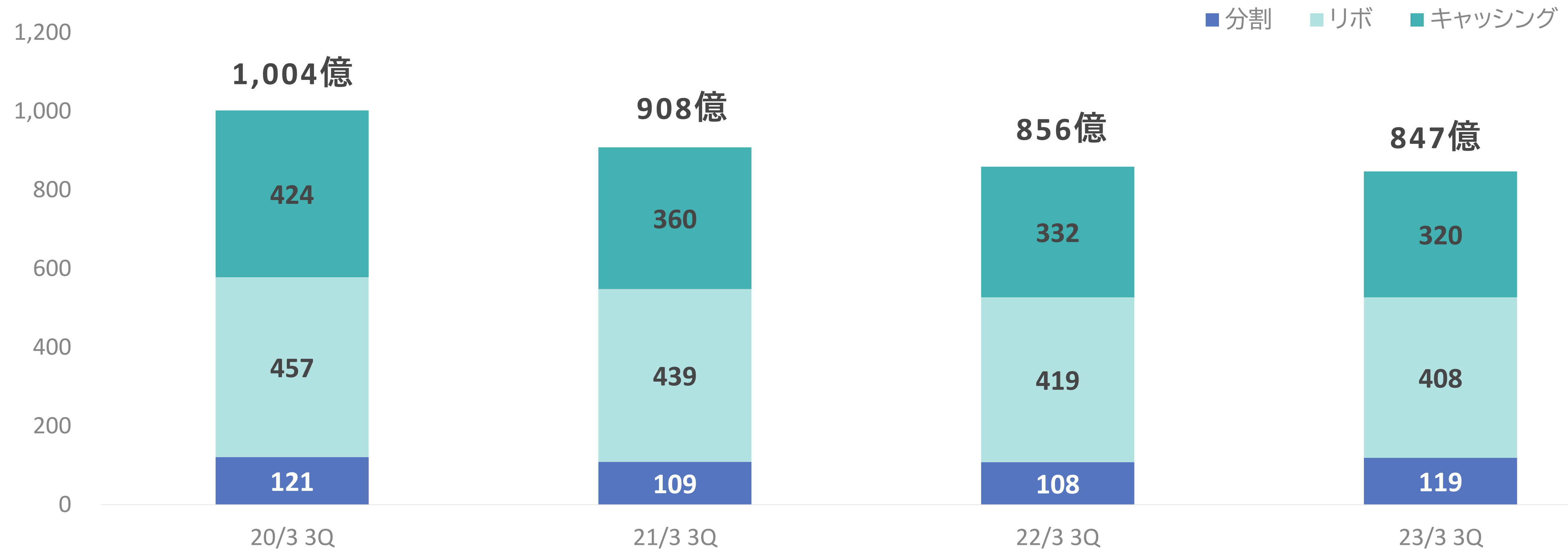


【残高推移】分割・リボ・キャッシング

- キャッシング残高は前年同期比3.9%減の320億円
- リボは微減も分割は前年同期比でプラスに。残高増加に向け、WEBサイト・アプリリニューアルを順次リリースし利便性向上・機能改善を実施

単位：億円

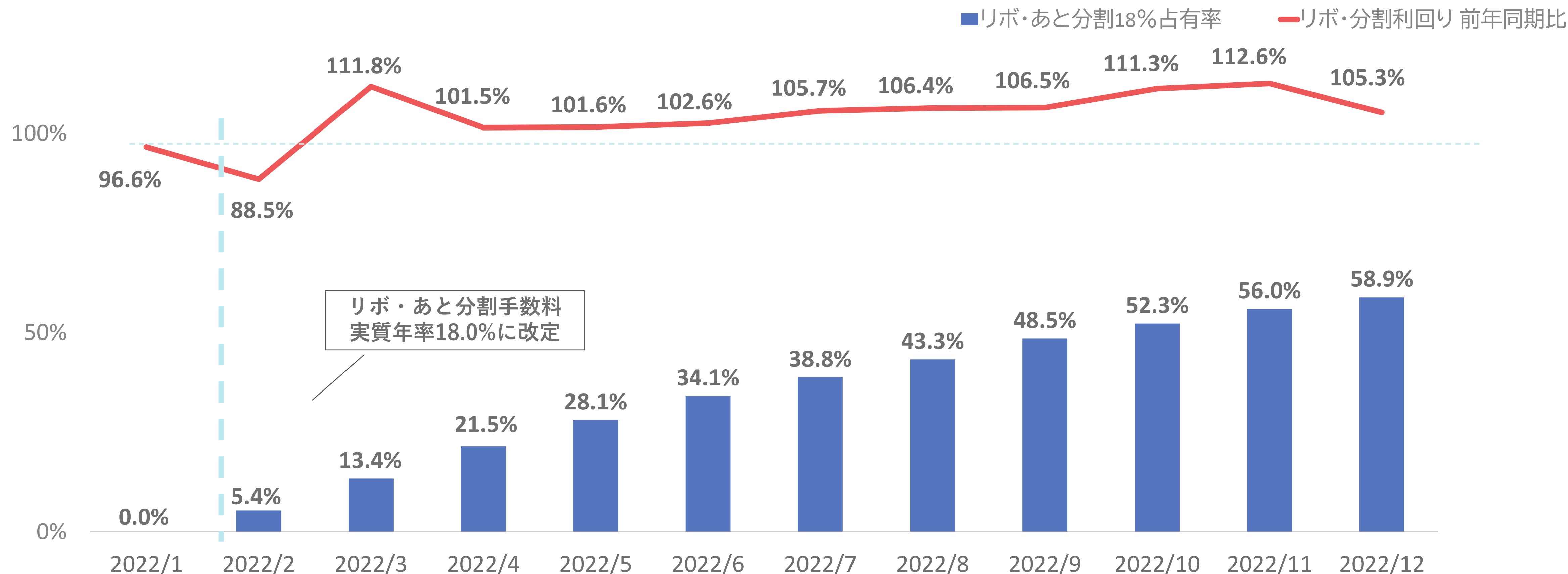
残高推移（営業債権ベース）



リボ・分割払いの利回り

- 2022年2月にリボ・あと分割払い手数料の実質年率を18.0%に改定以後、ショッピング残高の利回りは上昇トレンドを維持
- 2023年3Q期中におけるリボ・分割払いの利回りは10.7%

リボ・分割払いの利回りと18%年率の占有率



リボ・あと分割手数料
実質年率18.0%に改定

※ 実質年率18%には、2022年2月1日以降の利用分から順次引上げ
 ※ 正常債権(支払いの遅れが発生していない債権)をベースに利回りを算出しております

UI/UX向上(アプリリニューアル/アクティブユーザー)

- 2022年3月にクレジットカード用アプリをリニューアルし、2022年12月にVプリカアプリをリリース
- 利便性の向上により、アクティブユーザー数が増加。機能拡充やアプリ登録キャンペーンの実施により、ダウンロードおよびカードの利用を促進する

ライフカードアプリ

クレジットカード
新アプリ

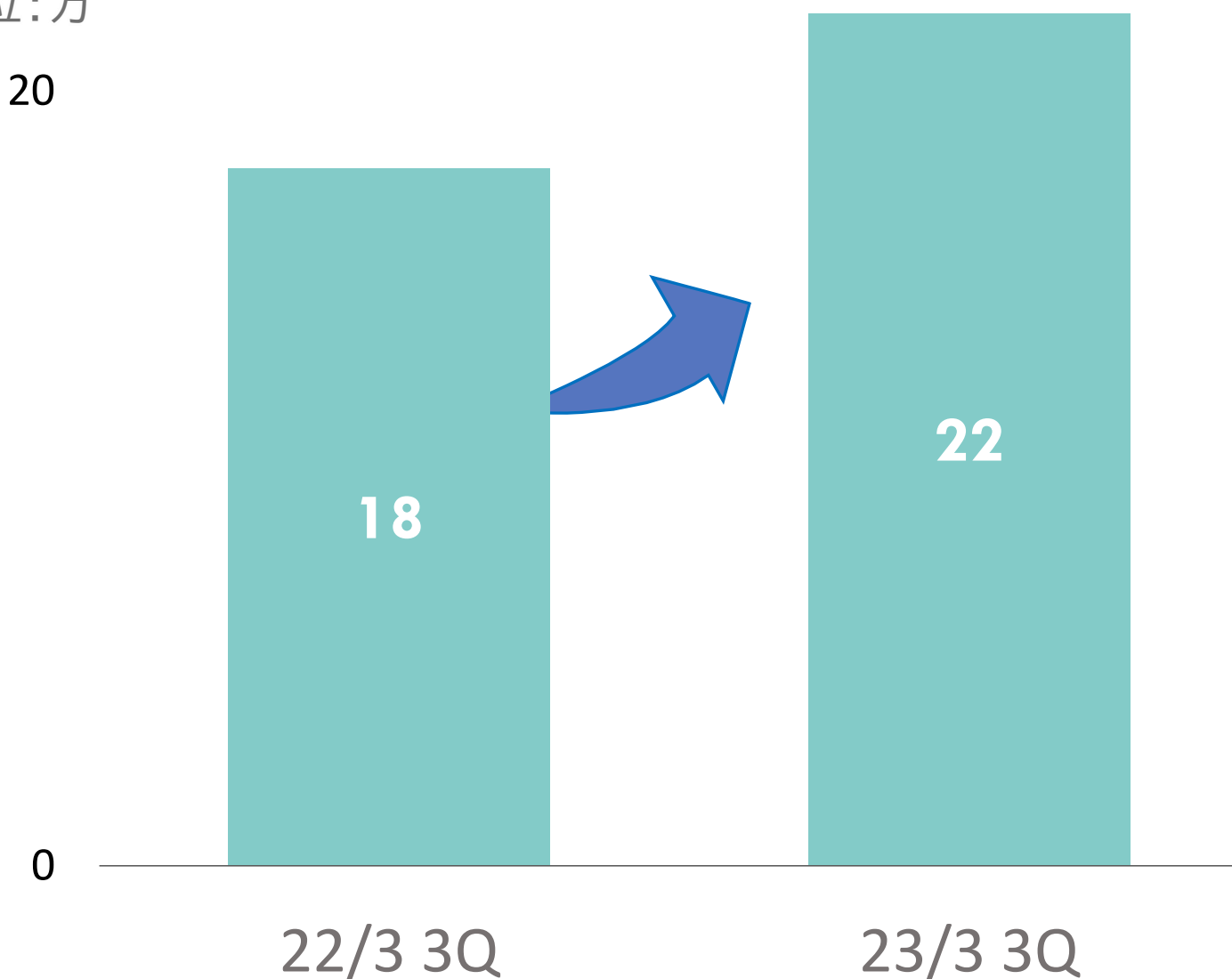


Vプリカアプリ



アクティブユーザー数

単位:万
20



アプリの評価

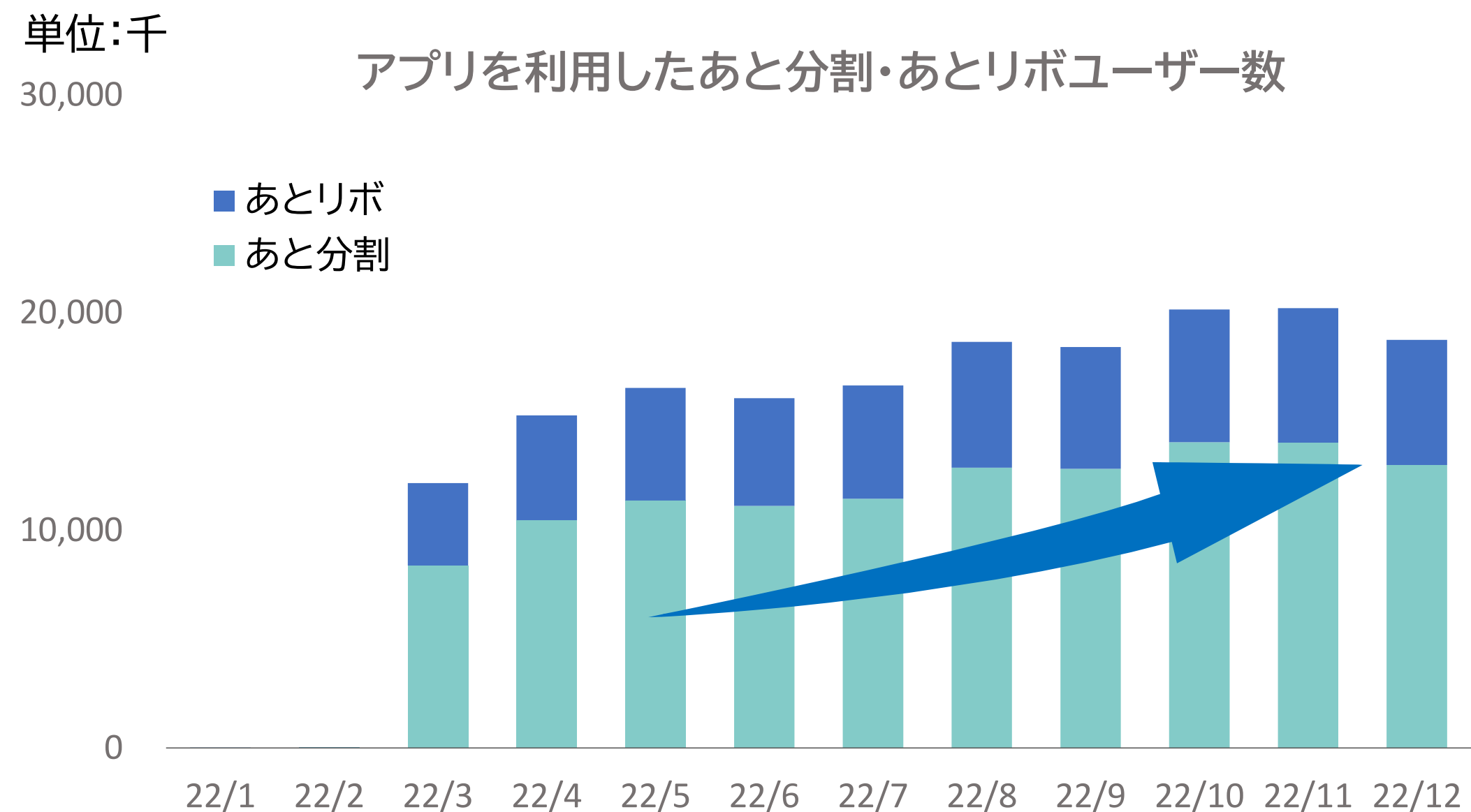
	2022年12月
iOS	★★★★★ 4.5
Android	★★★★☆ 4.3

UI/UX向上(あとリボ・分割/CV率/申込フォーム)

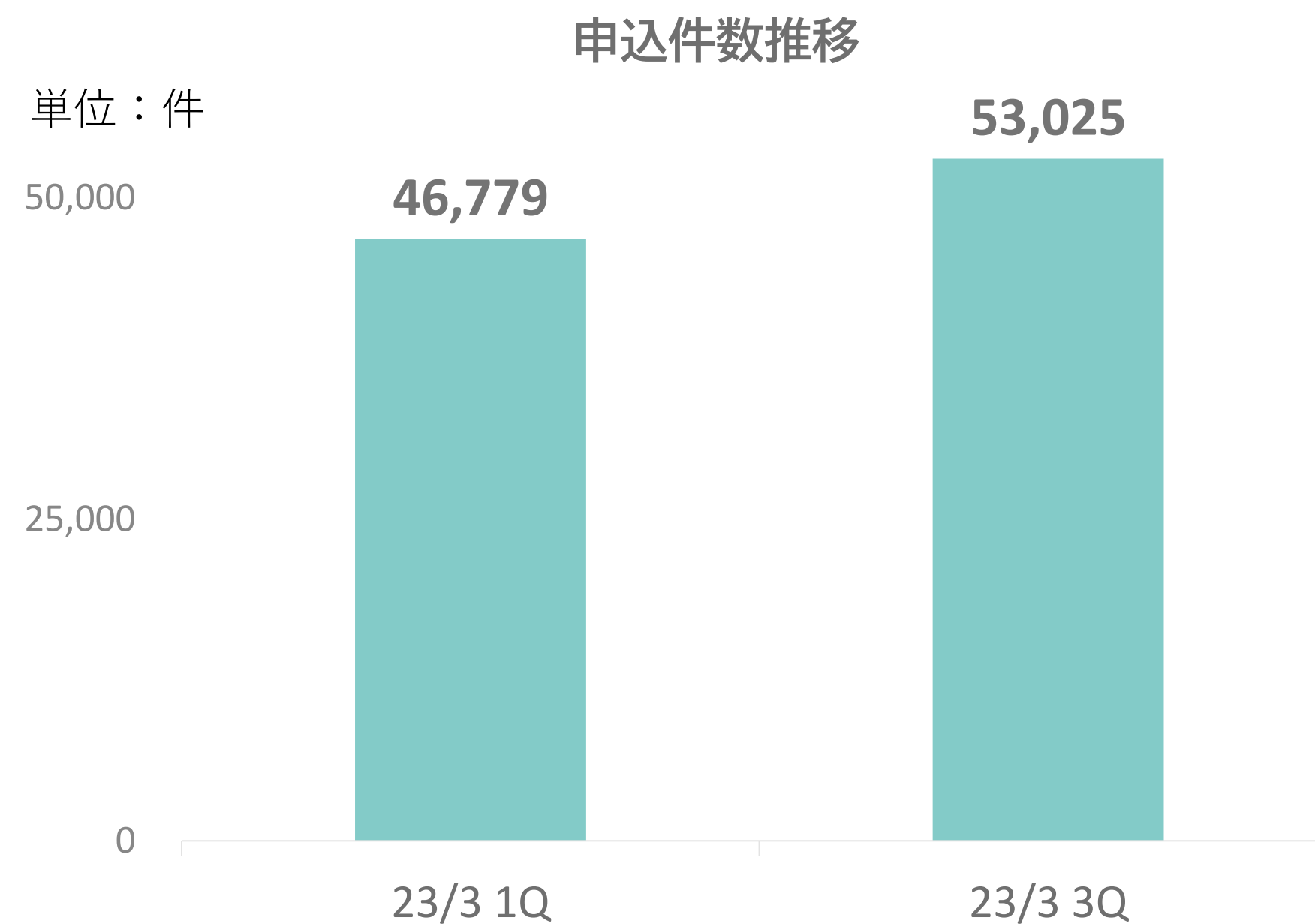
- アプリリニューアルによる利便性向上により、あとリボ・分割利用数が増加
- 2022年6月28日より、新申込フォームをリリース。UI/UX向上により、CV率が改善し申込数が増加

23/3 3Q アプリ累計利用者数

17万人以上 (2Q時点: 約10万人)



32% → 34%



ゴールドカードの有効会員数推移

- 積極的なプロモーションの実施を背景に、プロパー・提携ともにゴールドカード有効会員数が大幅に増加
- 72.5%と高い稼働率を実現し、収益増加に貢献

ゴールドカードについて



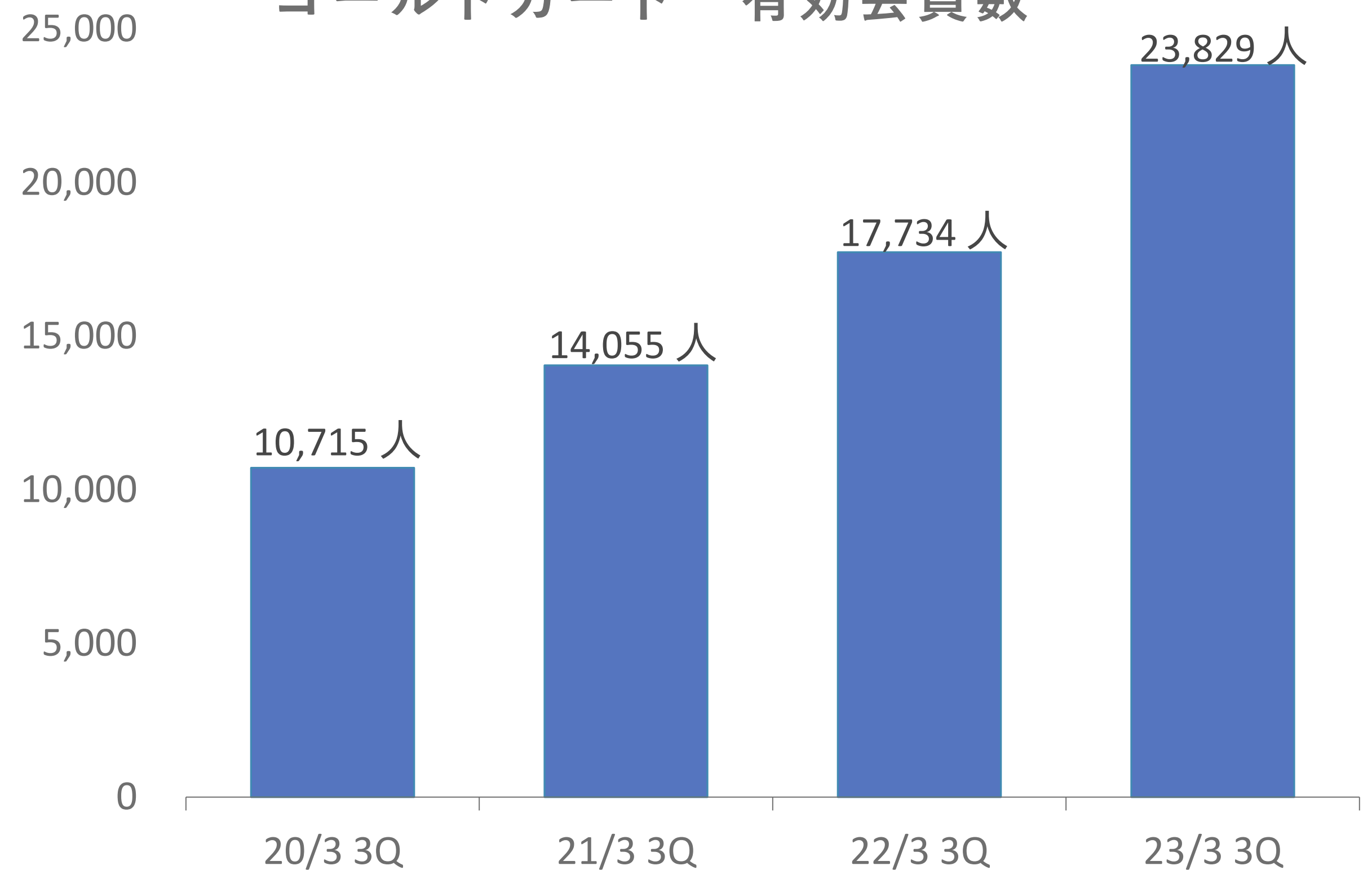
稼働率(22/12)
72.5%

プロパーゴールドカードの特徴

- ✓ GOLD会員専用サービスが利用可能
- ✓ 海外旅行傷害保険、国内旅行傷害保険、ショッピングガード保険などが自動付帯
- ✓ 最高レベルのポイントサービス

単位:人

ゴールドカード 有効会員数

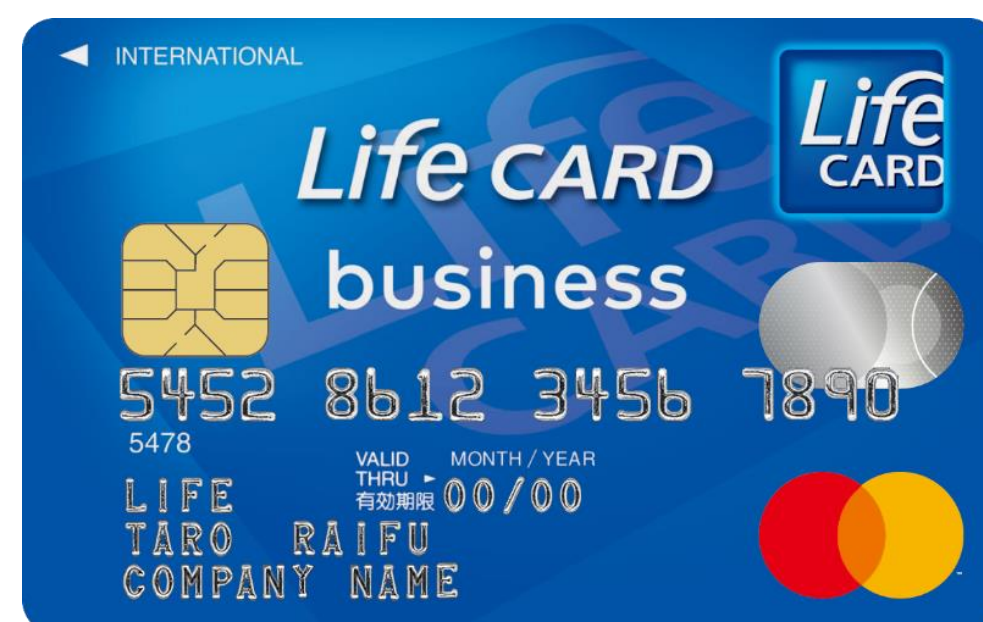


※ 2023年3月期第1四半期決算プレゼンテーションではプロパーゴールドカードのみの掲載としておりましたが、第2四半期より提携カードを含む表記に変更しております。

法人カードの推移

- パーチェシングカードの好調な買上推移を背景に、法人カード全体の買上額も増加
- パーチェシングカードの利用先はWeb広告等の広告宣伝費がメインであり、今後も高いニーズは維持される見込み

法人カード



稼働率(22/12)

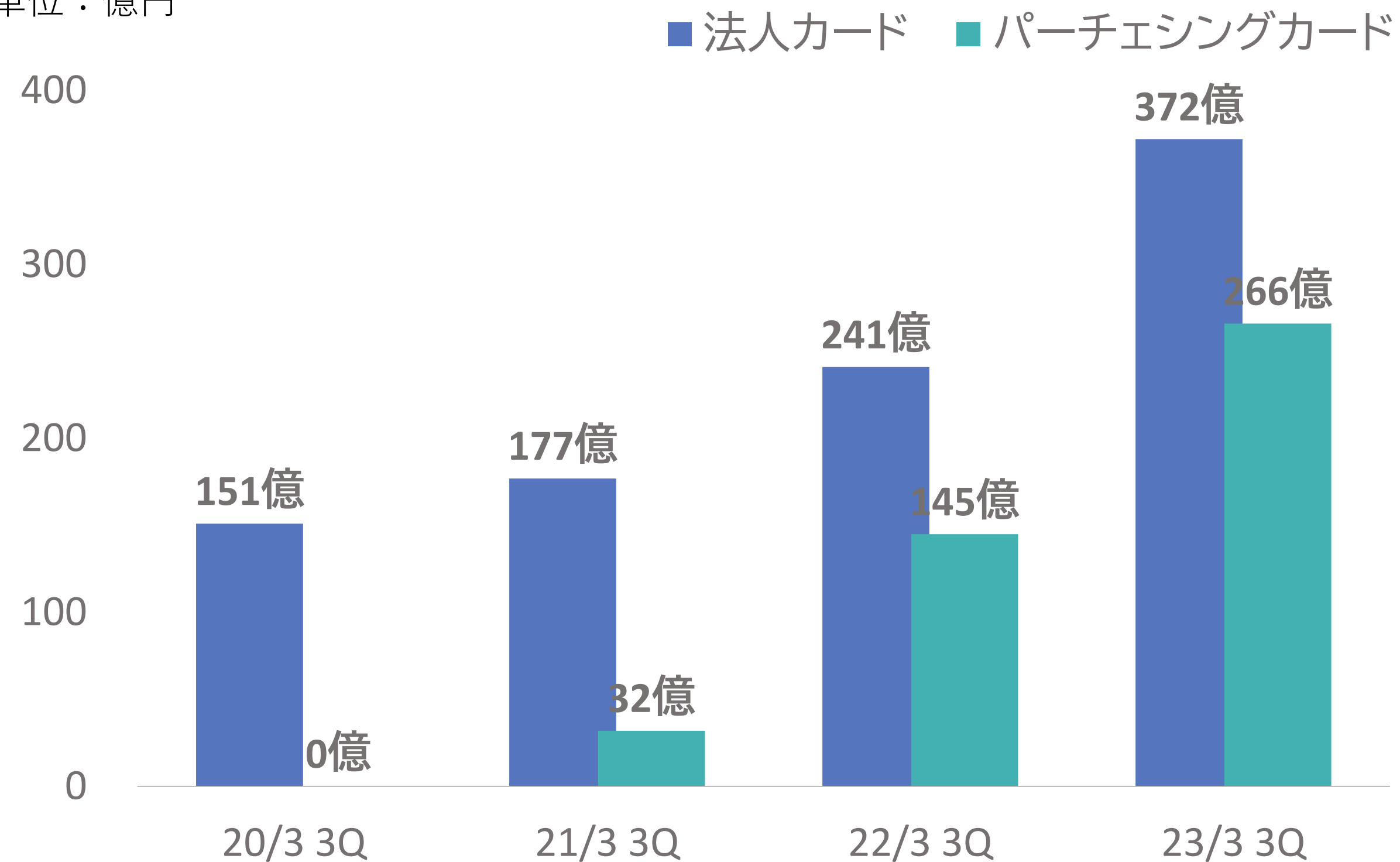
60.7%

パーチェシングカードについて

- ✓ 利用先を限定した法人向けカード
- ✓ 高額支払いにも対応可能
- ✓ ベンチャー企業にて限度額1億円以上の実績有

法人カード、パーチェシングカード買上額推移

単位：億円



寄付系カード

- メイク・ア・ウィッシュカード、SAVE THE GREAT APESカードなど、社会貢献型クレジットカードによる収益の一部を各々の提携団体やNPO法人の活動資金・援助資金として寄付

寄付系カード



稼働率(22/12)

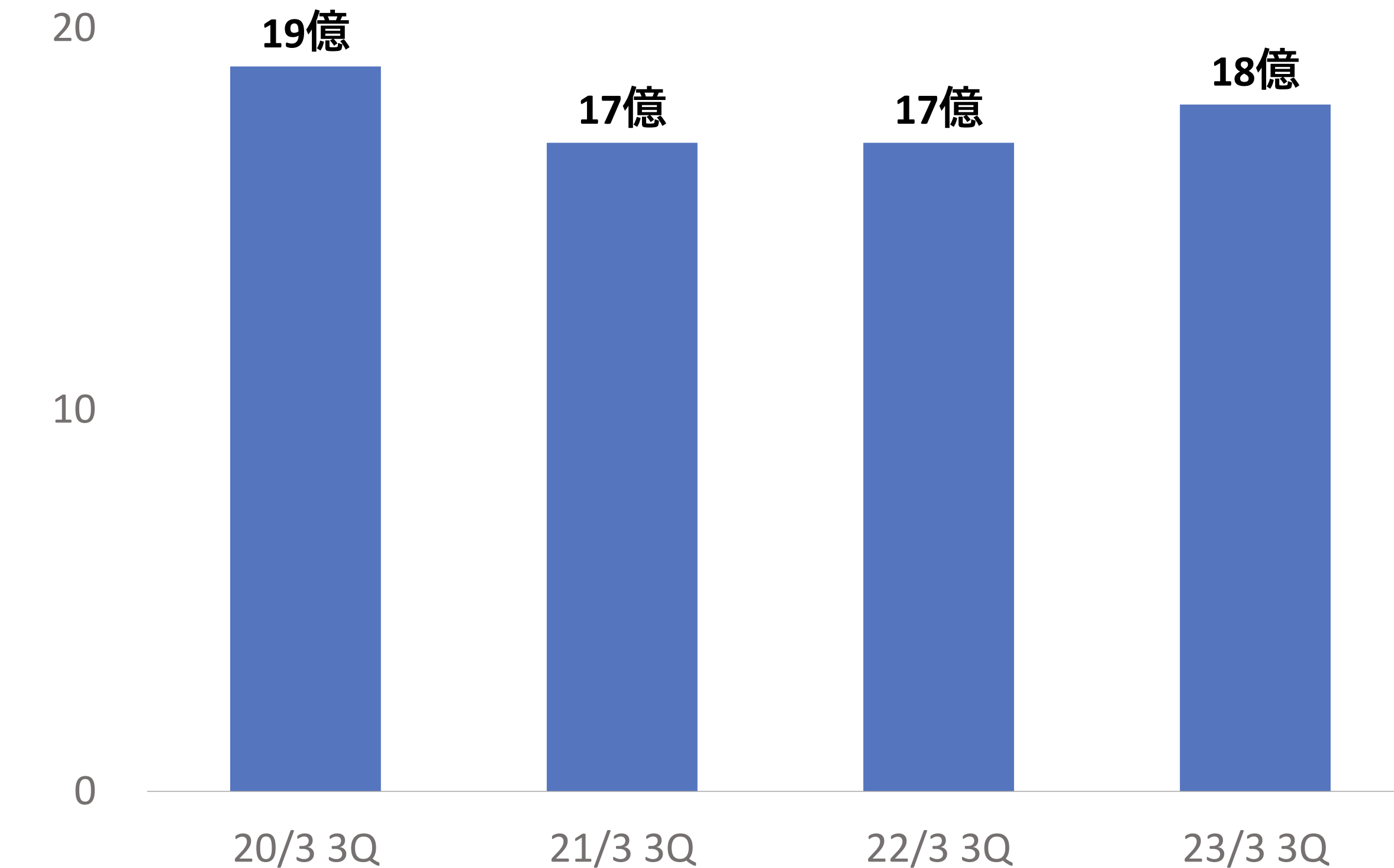
50.4%

社会貢献カードについて

- ✓収益の一部を提携団体やNPO法人に寄付
- ✓会員様による負担は一切なく、利用額に応じて自動的に寄付されるシステム

寄付系カード買上額推移

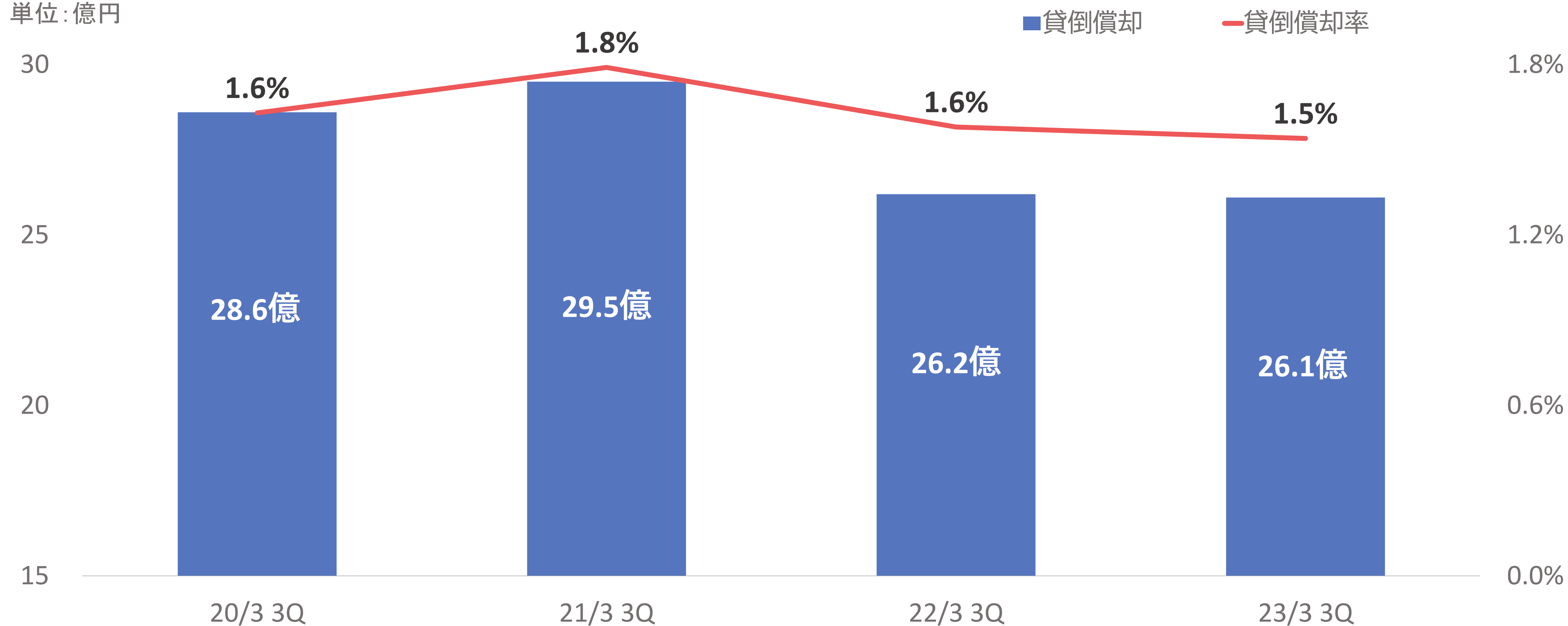
単位：億円



不良債権/貸倒償却

- 貸倒償却は前年同期比0.4%減の26.1億円となり、償却率は1.5%と低位安定
- 貸倒償却の内、利息返還に係る債権放棄は1.1億円と低位で推移

単位:億円



06 グループ各社決算概況

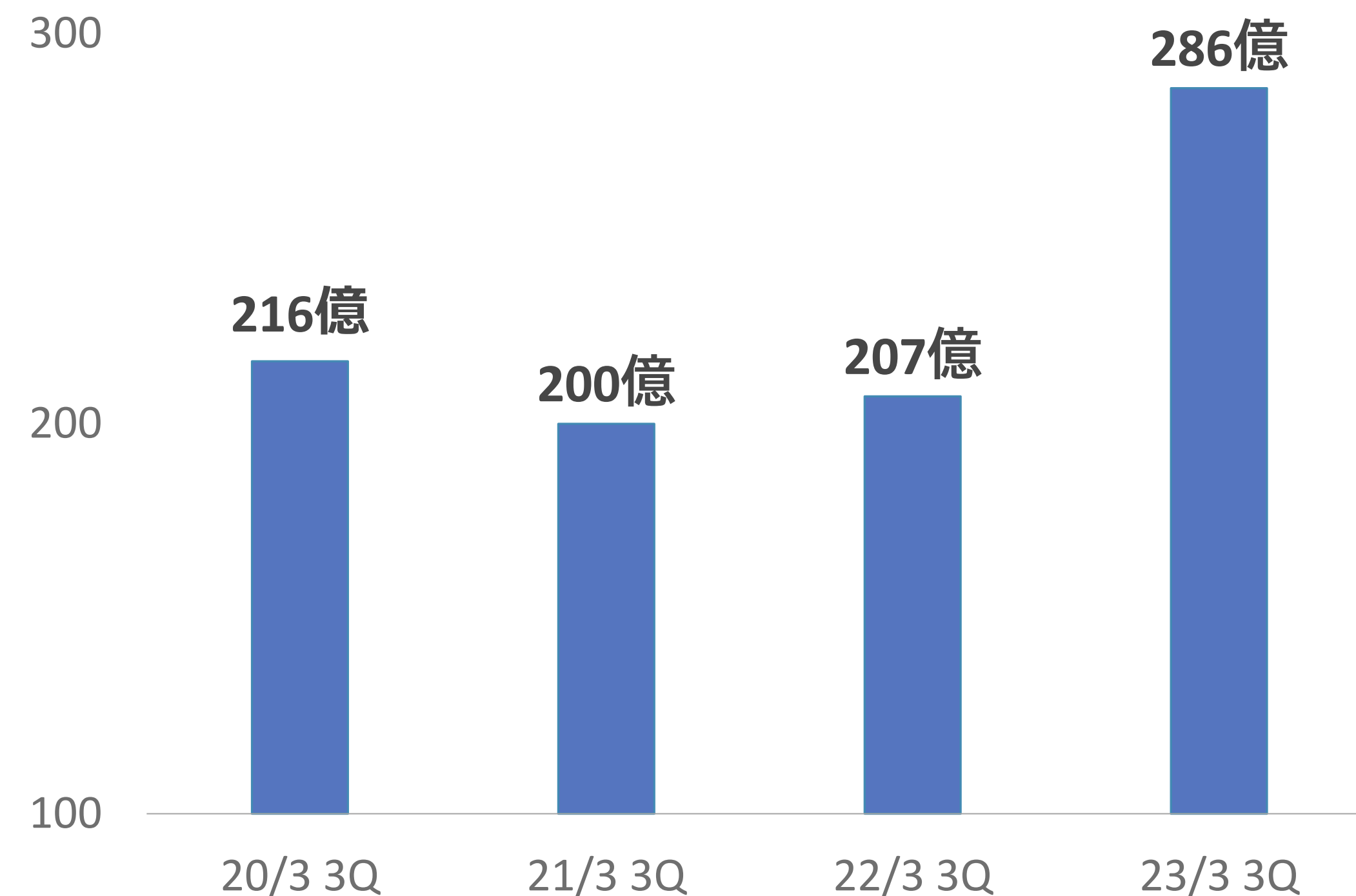
AIRA&AIFUL(タイ王国)

- マクロ環境: 政府の景気刺激策による国内需要の改善等により、2022年7月～9月の実質GDPは前年同期比4.5%増と、2022年4月～6月の2.5%からプラス幅が拡大(タイ国家経済社会開発委員会)
- 好調な新規申込を背景に残高は38.1%増の286億円。第3四半期における経常利益は貸倒関連費用の増額などにより67.5%減の0.5億円

単位:百万円	22/3 3Q	23/3 3Q	前年同期比 増減率
営業貸付金残高	20,731	28,631	38.1%
口座数 (千)	319	347	8.8%
貸倒償却率	10.77%	6.77%	-4.00pt
営業収益	4,225	5,165	22.2%
営業利益	156	59	-61.8%
経常利益	157	51	-67.5%
当期純利益	157	707	348.9%

単位:億円

営業貸付金残高



※A&Aは12月期決算のため、第3四半期累計期間は1月～9月です

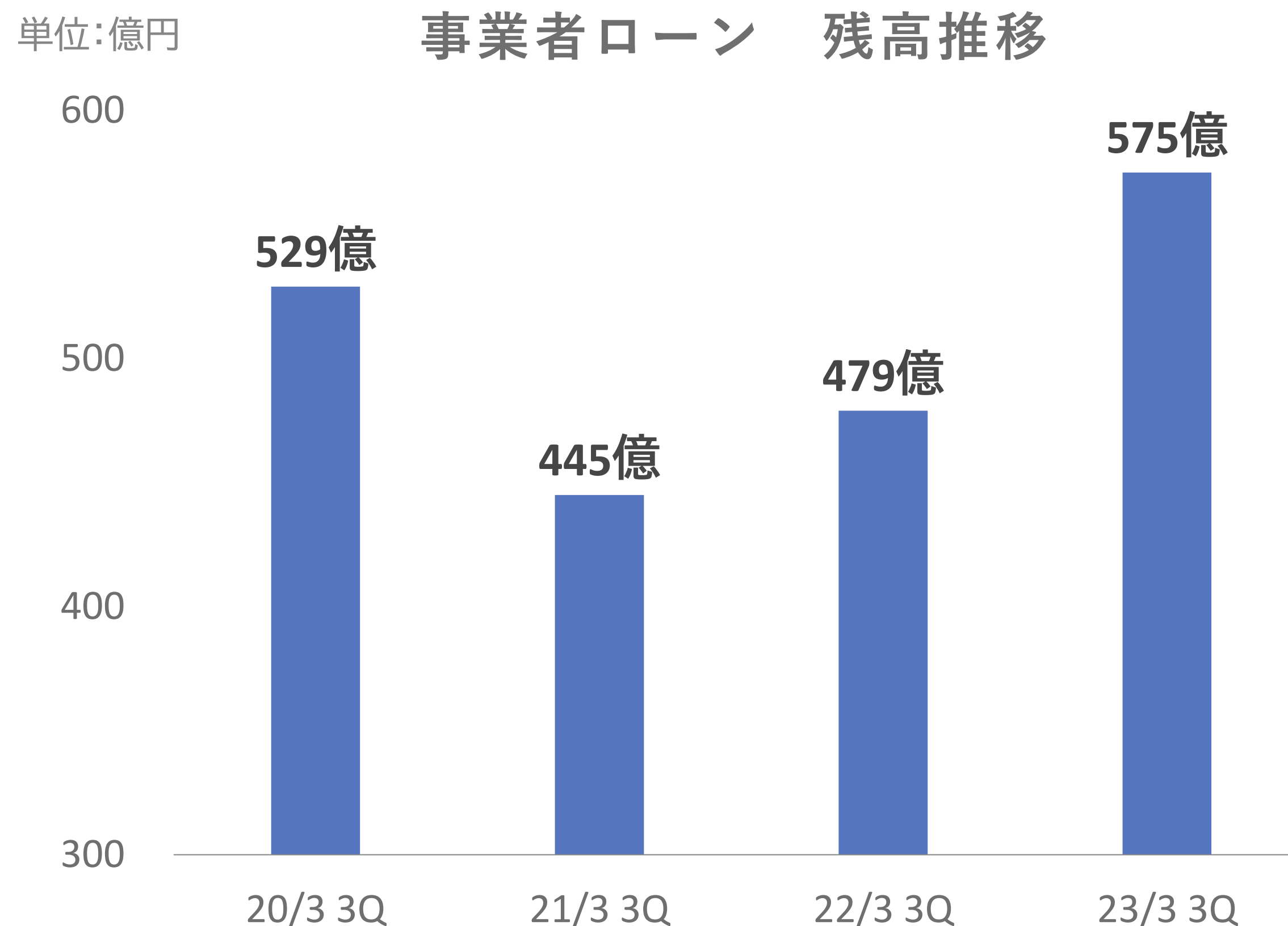
※為替レート(タイバーツ)

B/S:2021年度3Q 3.30円、2022年度3Q 3.81円 P/L:2021年度3Q 3.45円、2022年度3Q 3.70円

アイフルビジネスファイナンス

- 効果的な宣伝広告の投下を背景に、事業者ローン残高は前年同期比20.0%増
- 営業利益は貸倒関連費用、広告宣伝費、人件費の増加を要因として前年同期比22.6%減

単位:百万円	22/3 3Q	23/3 3Q	前年同期比 増減率
営業貸付金残高	54,408	66,633	22.5%
有担保ローン	6,458	9,112	41.1%
事業者ローン	47,949	57,520	20.0%
口座数 (千)	25	28	12.4%
貸倒償却率	2.41%	2.23%	-0.18pt
営業収益	4,785	5,600	17.0%
営業利益	1,723	1,334	-22.6%
経常利益	1,732	1,341	-22.6%
当期純利益	1,059	859	-18.9%



※診療報酬等担保ローン事業は2021年7月よりAGメディカル株式会社が承継しております

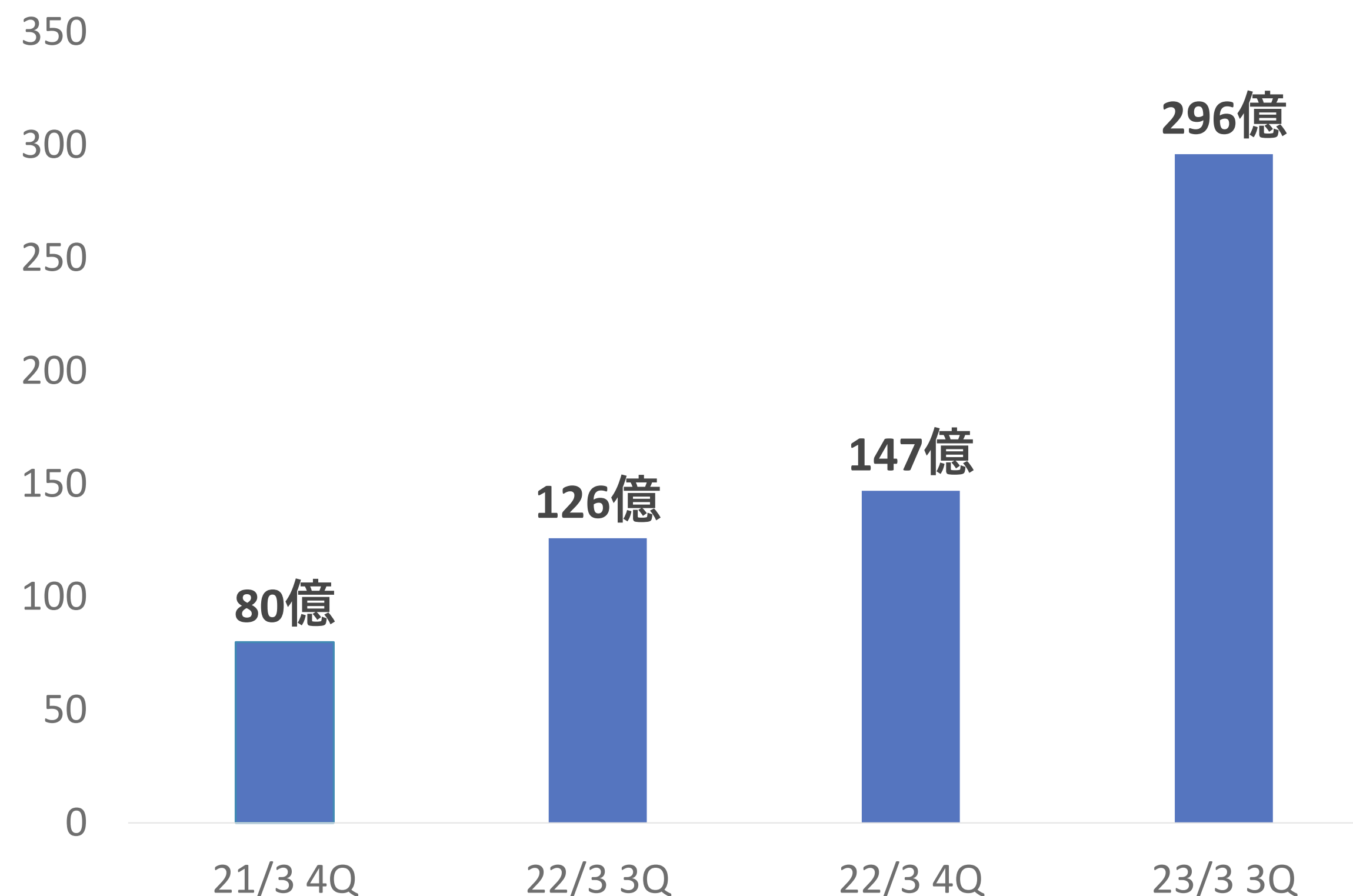
AGギャランティー

- 好調な加盟店開拓を背景に、割賦売掛金残高は前年同期比135.3%増
- 営業利益は貸倒関連費用の増加を主要因として前年同期比52.9%減

単位:百万円	22/3 3Q	23/3 3Q	前年同期比 増減率
割賦売掛金残高	12,605	29,659	135.3%
支払承諾見返	140	117	-16.5%
営業収益	932	1,786	91.7%
営業利益	410	193	-52.9%
経常利益	410	194	-52.6%
当期純利益	261	126	-51.7%
貸倒償却率	0.35%	0.51%	0.16pt

単位:億円

割賦売掛金残高推移



その他グループ会社トピックス

AG メディカル

営業利益 0.9億円

経常利益 0.9億円

当期純利益 0.5億円

営業債権残高 115億円

前年同期比 +49.3%

AG ミライバライ

営業利益 -6.7億円

経常利益 -6.6億円

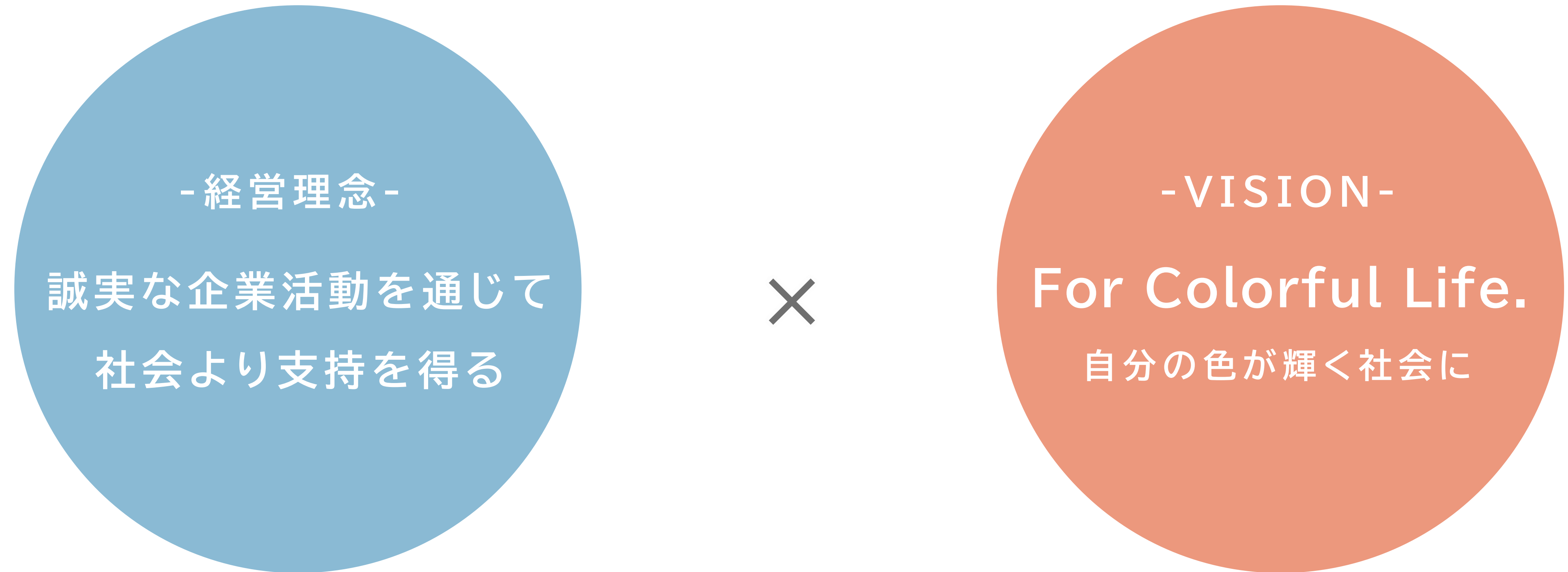
当期純利益 -5.6億円

買上 147億円
(前年同期比 +80.0%)

加盟店数 489千店
(前年同期比 +19.4%)

07 參考資料

サステナビリティ基本方針



私たちアイフルグループは、
あらゆる人が自分らしくいられる未来を創造していくために
「持続可能な社会の実現」と「グループの成長」の両立を目指します。

サステナビリティへの取り組み

4 質の高い教育を
みんなに



ハッカソン開催



- アイフルが、グループとして5回目となる大学生(東京大学 etc.)向けハッカソン『aihack』をタイ王国のチュラロンコン大学にて2日間開催。タイ王国では2回目の開催。

8 働きがいも
経済成長も

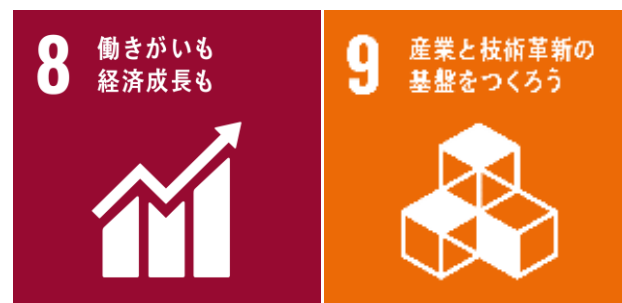


社内イベントの開催



- 各拠点にてハロウィーン・クリスマスイベントといった社内イベントを開催。従業員同士のコミュニケーションの量と質を向上させることで、従業員エンゲージメント向上を図る。

サステナビリティへの取り組み



事業サポート商品の拡充

- Visa・Mastercard 推奨の決済スキームを活用した BtoB 向けカード決済サービスの提供



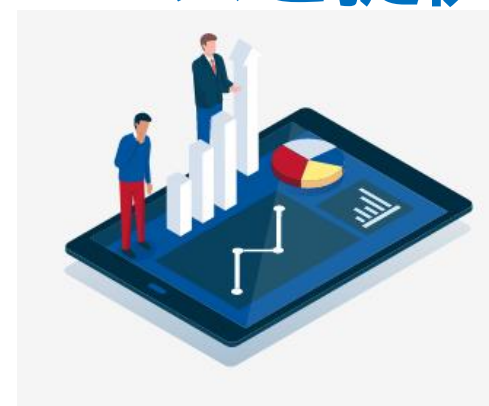
LIFE CARD



- 最短即日振込のファクタリングサービスを提供



アイフル
ビジネスファイナンス



- 金融システムとしてファイナンシャル・インクルージョンをテーマに、個人事業者の消費活動・経済活動を支える前述の様々な事業を行っております。全ての人々に金融サービスへのアクセスを提供できる社会の実現に貢献してまいります。

その他関連情報

福田美術館



- アイフル創業者の福田吉孝が京都嵐山に美術館を設立
- 現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に継承する
- 2022年10月1日に開館3周年を迎えた

主な取り組み一覧

重点課題	テーマ	主な取り組み・事業	関連するSDGs
環境面	脱炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量の管理 ・クールビズ、ウォームビズの取り組み ・COOL CHOICEへの賛同 ・業務効率化への取り組み ・複合機の台数削減 	  
	資源循環の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別、リサイクル ・緑の募金活動 ・グリーン商品、エコマーク商品の購入推進 ・カード明細のWEB化 	 
社会面	社会の期待に応える商品づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な資金ニーズに応える商品開発 ・お客様の声の収集とサービス品質の向上 ・AIFUL-CSIRT(サイバー攻撃対策チーム) 	
	職場および労働環境	<ul style="list-style-type: none"> ・人事大綱の制定 ・ハラスメントホットライン ・従業員の意識、満足度調査の実施 ・健康診断、ストレスチェックの促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成制度の拡充 ・フレックスタイム制度 ・テレワーク、時差出勤の導入 ・防災訓練の実施 
	ダイバーシティ推進	<ul style="list-style-type: none"> ・プラチナくるみん認定取得 ・女性採用の拡大 ・女性の育成、登用 	<ul style="list-style-type: none"> ・定年再雇用制度 ・障害者の雇用 
	社会貢献・地域との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・献血活動 ・AED設置、救命講習 ・大規模災害に伴う寄付 ・新型コロナウイルス対策支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャリティーコースでポイント寄付 ・クレジットカードを通じた社会貢献 ・ハッカソンへの協賛   

アイフルグループの事業

2022年7月7日にアイフルグループのVI(ヴィジュアルアイデンティティ)を刷新
事業の多角化により、**全ての顧客ニーズに応えるビジネスの創造**を目指す

ローン・保証



事業者ローン



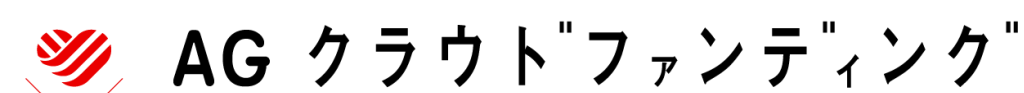
クレジット・保証



後払い決済



クラウドファンディング



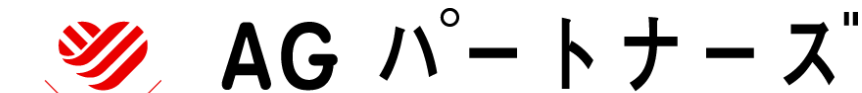
ベンチャーキャピタル



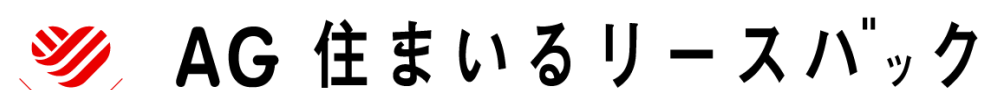
サービサー



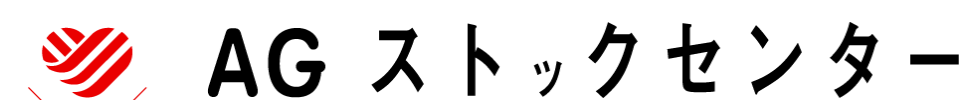
企業再生



リースバック・家賃保証



倉庫業



少額短期保険事業

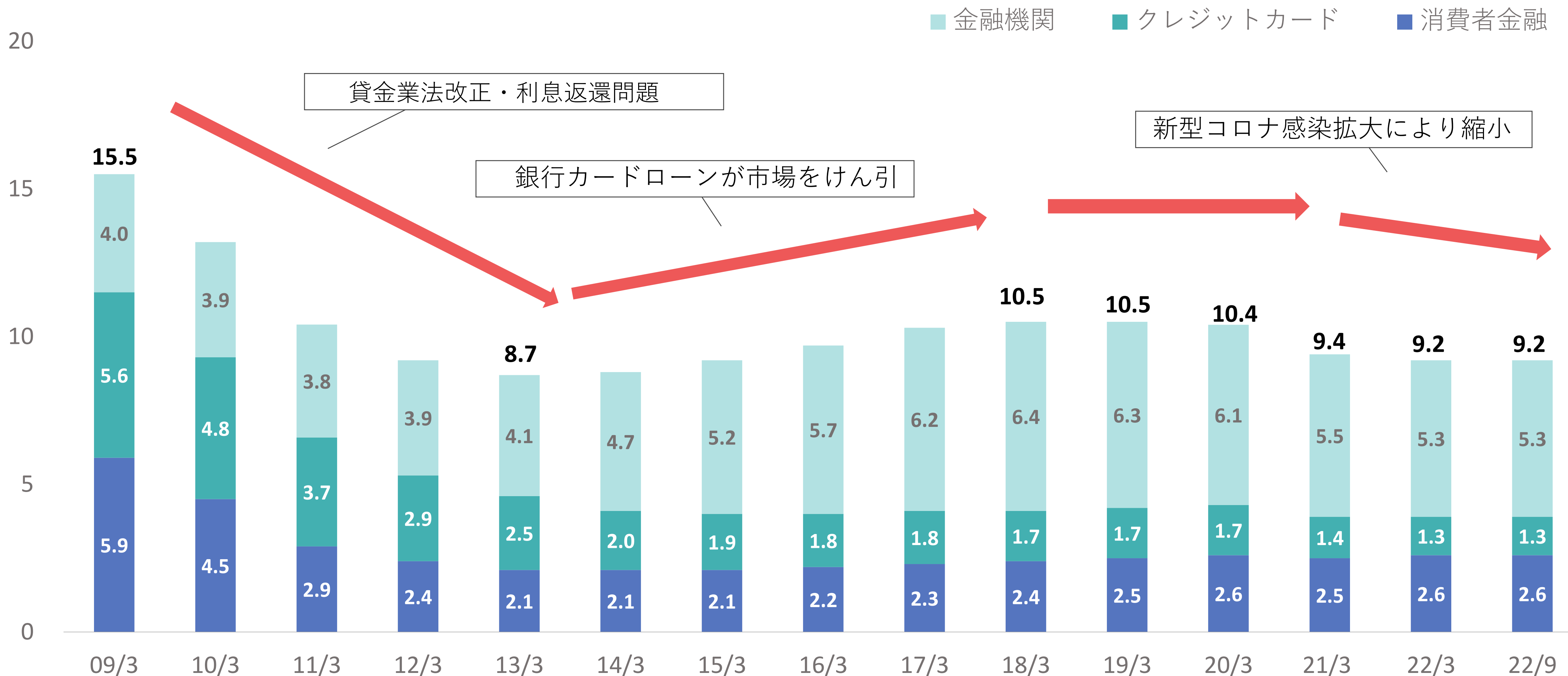


海外



無担保ローン市場

単位：兆円

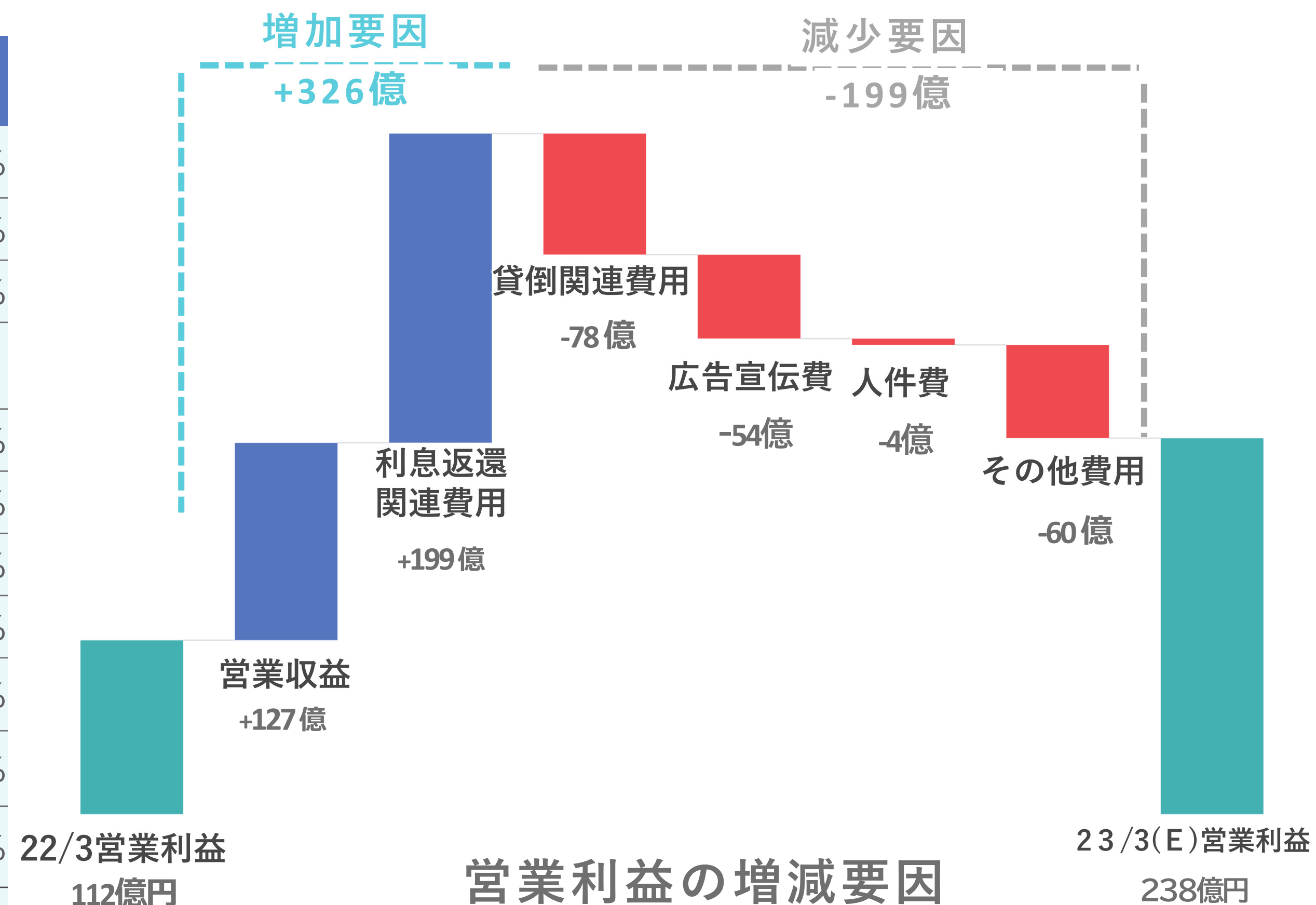


※消費者金融・クレジットカード：日本貸金業協会統計 金融機関：日本銀行統計（国内銀行及び信用金庫の個人向けカードローン残高）

計画概要

22/3実績と23/3計画概要（連結）

単位:百万円	22/3	23/3(E)	前期比 増減額	前期比 増減率	3Q進捗率
営業収益	132,097	144,800	12,702	9.6%	74.3%
営業費用	120,855	121,000	144	0.1%	74.2%
金融費用	7,041	7,000	-41	-0.6%	76.6%
利息返還関連費用	19,929	-	-19,929	-	-
貸倒関連費用	27,918	35,800	7,881	28.2%	80.5%
広告宣伝費	11,321	16,800	5,478	48.4%	67.7%
人件費	16,704	17,200	495	3.0%	74.8%
その他費用	37,939	44,000	6,060	16.0%	71.4%
営業利益	11,242	23,800	12,557	111.7%	74.6%
営業外収益	1,058	200	-858	-81.1%	301.0%
営業外費用	35	40	4	13.3%	90.0%
経常利益	12,265	24,000	11,734	95.7%	76.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,334	21,300	8,965	72.7%	79.2%



- ・ 今期利息返還引当金の繰り入れはなし
- ・ 営業アセットの成長に伴い貸倒関連費用および広告宣伝費が増加

－ 本資料に関する注意事項 －

本資料の数値のうち、当社グループの計画・方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社グループが把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、これらの予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであり、実際の業績は、諸々の要因により、これらの予想値と異なってくる可能性がありますのでご留意ください。